

第2次新庄市母子保健計画（案）

～ 安心して子どもを産み育てられ、
すべての子どもが健やかに育つまち 新庄 ～

令和●年●月

新庄市

目次

第1章 計画策定の概要

1. 計画策定の趣旨	1
2. 計画の位置づけ	1
3. 計画の期間	2
4. 計画の策定体制	2

第2章 第1次計画の評価

1. 成果指標の評価方法	3
2. 成果指標一覧	4

第3章 計画の基本的な考え方

1. 基本理念	5
2. 基本目標	5
3. 施策の体系図	6

第4章 具体的な取組み

・基本目標1 (妊娠期・産前産後期)	
「安心して子どもを産み育てられる切れ目ない支援の充実」	8
（1）取組み目標 妊娠期から出産・子育て期までの切れ目ない支援体制の充実	10
（2）取組み目標 産前産後のメンタルヘルスにおける連携支援	11
（3）取組み目標 母子保健の推進と経済的支援の充実	11
・基本目標2 (乳幼児期・子育て期)	
「成長段階に応じた乳幼児の成長・発達を促す支援体制の充実」	13
（1）取組み目標 母子保健事業を活用した子ども・子育て支援の充実	15
（2）取組み目標 特に支援を必要とする子ども・子育て家庭への支援の充実	16
（3）取組み目標 子どもや子育て家庭のための相談支援体制等の充実	17
・基本目標3 (学童期～青年期)	
「子ども・若者が自ら心身の健康を考え、行動できるまちづくり」	18
（1）取組み目標 子ども・若者への心身の健康等に関する普及・啓発	20
（2）取組み目標 プレコンセプションケアの推進	21

第5章 計画の進行管理と評価

1. 計画の進行管理	22
2. 計画の評価	22

【参考資料】

・第1次新庄市母子保健計画の最終評価	23
・新庄市の現状と課題	34
・健やか親子21（第2次）乳幼児健診データ	53
・いきいき健康づくりアンケート（中学生）	60

第1章 計画策定の概要

1. 計画策定の趣旨

新庄市（以下「本市」という。）では、母子保健施策をより効果的に推進していくために、国民運動である「すこやか親子21（第2次）」で示された課題や指標などに基づき、平成28年3月に「新庄市母子保健計画」（以下「第1次計画」という。）を策定し、「すべての親と子が 健やかに育つまち 新庄」を基本理念とし、母子保健事業を推進してきました。

一方、本市においても近年、少子化や核家族化が進み、地域のつながりも希薄となる中で、孤立感や不安感を抱く妊婦・子育て家庭も少なくない現状であり、全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境整備が求められています。

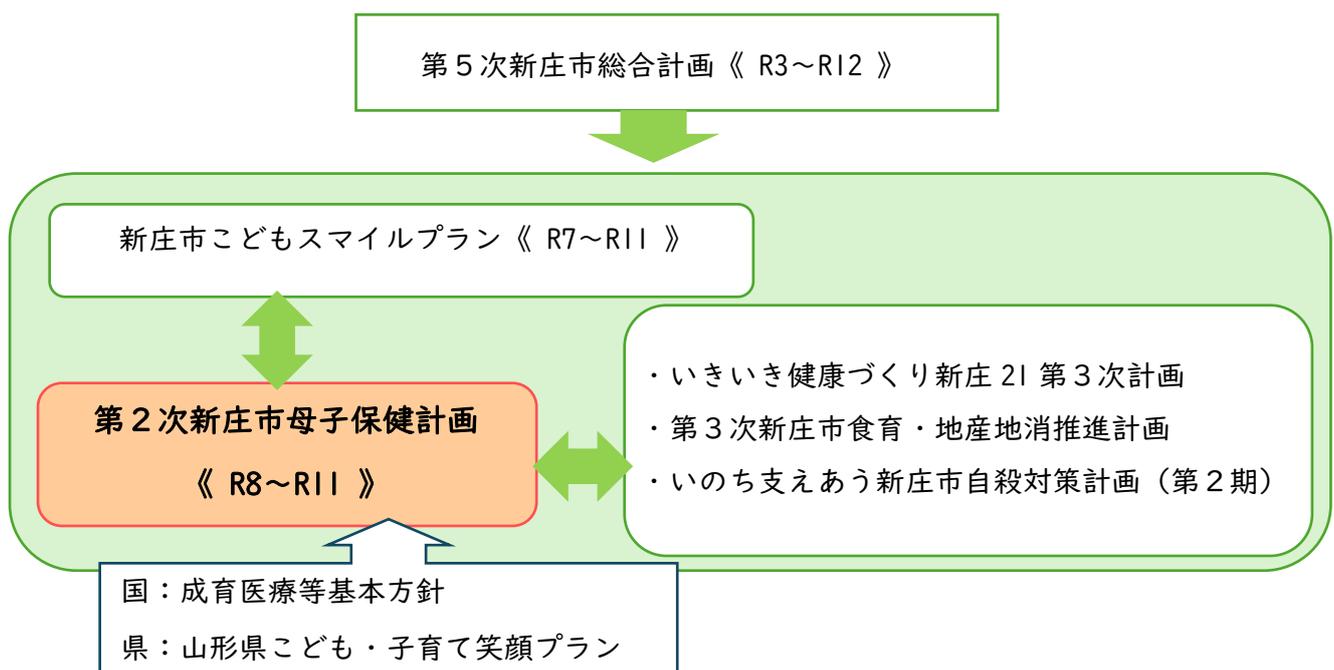
今般、第1次計画が令和7年度をもって計画期間の最終年度を迎えることから、第1次計画の評価を行い、社会環境の変化や本市における母子及び子育て家庭を取り巻く現状等を整理し、国の「成育医療等基本方針」に基づき「第2次新庄市母子保健計画」を策定するものです。

2. 計画の位置づけ

本計画は、成育医療等基本方針で示された課題や施策の方向性、評価指標等に基づき、母子保健施策をより効果的に推進していくものです。

また、「第5次新庄市総合計画」を上位計画とし、「いきいき健康づくり新庄21（第3次計画）」と「新庄市こどもスマイルプラン」※1や「山形県こども・子育て笑顔プラン」等、他の計画との整合性を図るものとします。

※1 「新庄市こどもスマイルプラン」は、こども基本法に基づく「こども計画」、子ども・子育て支援法に基づく「子ども・子育て支援事業計画」及び次世代育成支援対策推進法に基づく「行動計画」、こどもの貧困の解消に向けた対策の推進に関する法律に基づく「こどもの貧困の解消に向けた対策推進計画」、子ども・若者育成支援推進法に基づく「子ども・若者計画」を包含するものです。



3. 計画の期間

本計画は、令和8年度から令和11年度までを計画期間とします。

次期計画については「新庄市子どもスマイルプラン（計画期間：令和7年度～11年度）」に包含するものとし、本計画の評価・見直しは、最終年度（令和11年度）を目安に行います。

4. 計画の策定体制

本計画にあたっては、新庄市母子保健計画策定委員会設置要綱で定められた、学識経験者や母子保健に関係する団体の代表者等で組織する「母子保健計画策定委員会」において審議を行いました。

また、市民に本計画の案を公表し広く意見を求めるため、パブリックコメントを実施しました。

第2章 第1次計画の評価

平成28年度から令和7年度までの10か年計画として策定した第1次計画について、評価をしました。

1. 成果指標の評価方法

令和6年度に実施した「いきいき健康づくりアンケート」^{※2}のほか、母子保健事業の実績等により、目標値の進捗状況をAからEの区分で評価しました。

A	順調	計画策定時の値より改善しており、目標値に向けて順調に進んでいる、または目標値を達成しているもの
B	おおむね順調	計画策定時の値より改善しており、おおむね順調に進んでいるもの
C	やや遅れ	計画策定時の値より改善していない（横ばい）、または改善しているが、目標値に向けて遅れているもの
D	遅れ	計画策定時の値よりも悪化しているもの
E	評価困難	設定した指標又は把握方法が異なる等の理由により評価が困難であるもの

※2 「いきいき健康づくりアンケート」 令和6年9月～令和6年11月
調査対象者：市内中学生 271人
回答者数： 152人（回収率 56.1%）

2. 成果指標一覧

基本方針	項目	策定時 H26	達成状況 R1	達成状況 R6	最終 評価	目標値
妊婦やその家族が安心して妊娠・出産を迎えることができる	【目標1】 満11週までの妊娠届出の割合	84.6%	88.9%	89.7%	B	90%
	喫煙している妊婦の割合	6.2%	1.0%	2.1%	B	0%
	飲酒している妊婦の割合	3.6%	0.5%	0.0%	A	0%
	家庭で喫煙者がいる割合 (4か月児)	64.6%	53.3%	47.3%	A	50%
子どもが健やかに育つことができる	【目標2】 10時以降の就寝時間の割合 (3歳児)	35.8%	24.9%	32.6%	C	30%
	テレビを2時間以上視聴する割合 (3歳児)	51.3%	44.2%	37.2%	A	45%
	むし歯のない割合 (3歳児)	75.3%	84.6%	92.3%	A	85%
	2回以上の間食の割合 (3歳児)	69.6%	72.4%	80.7%	D	50%
親が安心して子育てできる	【目標3】 母親がゆったりとした気分で 子どもと過ごせる割合 (3歳児)	73.2%	65.5%	68.4%	D	85%
	子どもに対して育てにくさを感じる割合 (3歳児)	27.3%	33.6%	28.7%	D	20%
	麻疹風疹I期の接種率 (1歳6か月児)	89.5%	95.7%	92.4%	C	100%
自分のところから健康を考え、行動できる 【目標4】 子ども自身が	タバコを吸いたいと思う割合	6.7%	1.8%	9.8%	D	0%
	薬物を勧められたら断ることができると答える割合	81.3%	83.6%	84.9%	B	100%
	コンドームはエイズや性感染症の予防になることを知っている割合	32.2%	29.0%	36.8%	C	60%

第3章 計画の基本的な考え方

1. 基本理念

「安心して子どもを産み育てられ、すべての子どもが健やかに育つまち 新庄」

子どもの健やかな成長にとって最も基本となるよりどころは、その保護者であり、家庭です。子どもを育てる上で生じる様々な不安を軽減し、安心して子どもを産み育てることができるよう、更に母子保健施策を推進していくために、本計画では、第1次計画の理念や方向性を引き継ぎながら母子保健施策を推進します。

2. 基本目標

本市の現状と課題を把握したうえで、新庄市総合計画や新庄市こどもスマイルプラン、その他の関連する計画との整合性を図りながら、以下の3つの基本目標を立て、目標を達成するために取り組みます。

基本目標1	(妊娠期・産前産後期) 安心して子どもを産み育てられる切れ目ない支援の充実
基本目標2	(乳幼児期・子育て期) 成長段階に応じた乳幼児の成長・発達を促す支援体制の充実
基本目標3	(学童期～青年期) 子ども・若者が自ら心身の健康を考え、行動できるまちづくり

3. 施策の体系図

《基本理念》「安心して子どもを産み育てられ、すべての子どもが健やかに育つまち 新庄」

基本目標	取組み目標	主な取組み
1 （妊娠期・産前産後期） 安心して子どもを産み育てられる切れ目ない 支援の充実	(1)取組み目標 妊娠期から出産・子育て期までの切れ目ない支援体制の充実	① 母子健康手帳の交付 ② 産前産後サポート事業 ③ 産後ケアの充実
	(2)取組み目標 産前産後のメンタルヘルスにおける連携支援	① 乳児家庭全戸訪問事業 ② 特に支援を必要とする妊産婦への早期対応と連携支援の推進
	(3)取組み目標 母子保健の推進と経済的支援の充実	① 妊婦健康診査事業【R8 拡充】 ② 妊産婦への受動喫煙防止・禁酒の指導・啓発 ③ 妊婦のための支援給付金交付事業 ④ 新生児聴覚検査費助成【R8 拡充】 ⑤ 産婦健康診査事業【R8 新規】 ⑥ 1か月児健康診査【R8 新規】 ⑦ 生殖補助医療費助成
2 （乳幼児期・子育て期） 成長段階に応じた乳幼児の成長・発達を促す 支援体制の充実	(1)取組み目標 母子保健事業を活用した子ども・子育て支援の充実	① 乳幼児健診を通じた子ども・子育て支援 ② 離乳食教室や乳幼児相談による子育て支援 ③ 5歳児健診実施による就学までの切れ目ない支援体制の構築【R8 新規】 ④ 歯科健診によるむし歯・歯周病予防と正しい知識の普及 ⑤ 予防接種による感染症予防
	(2)取組み目標 特に支援を必要とする子ども・子育て家庭への支援の充実	① 養育支援訪問事業 ② 臨床心理士による発達支援相談事業【R8 新規】 ③ 障がい児等支援の充実
	(3)取組み目標 子どもや子育て家庭のための相談支援体制等の充実	① こども家庭センターを拠点とする相談支援体制の充実 ② 母子手帳アプリすくすく Shinjo ③ 母子保健オンライン相談事業（R7～） ④ 地域や民間の子育て支援機関等との連携

基本 目標	取組み目標	主な取組み
3 (学童期～青年期) 子ども・若者が自ら心身の健康を 考え行動できるまちづくり	(1) 取組み目標 子ども・若者への心身の健康 等に関する普及・啓発	① 喫煙や性感染症予防、薬物に関する正しい知識の普及・啓発 ② こころの健康に関する普及・啓発
	(2) 取組み目標 プレコンセプションケアの推進	① プレコンセプションケアの普及・啓発 ② 民間企業との連携協定によるプレコンセプションケアの推進【新規（未定）】

第4章 具体的な取組み

基本目標1 安心して子どもを産み育てられる切れ目ない支援の充実

(妊娠期・産前産後期)

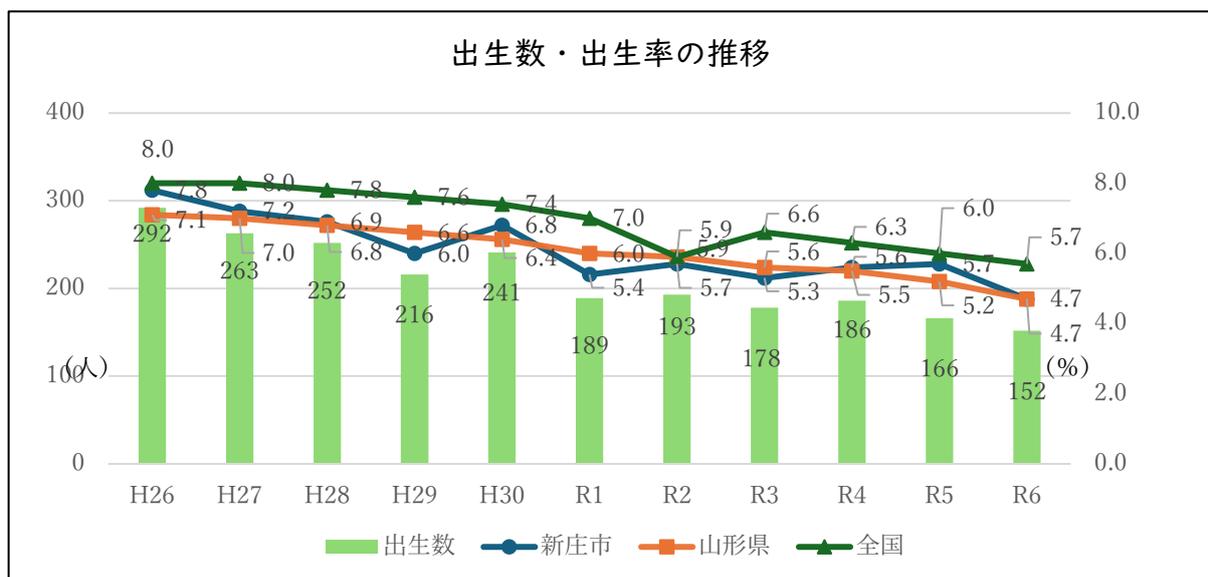
【現状と課題】

近年、少子化や核家族化が進み、地域のつながりも希薄となる中で、孤独感や不安感を抱く妊婦・子育て家庭も少なくありません。また、精神面の問題を抱える妊婦や経済的な問題を抱える妊婦もおり、周囲の協力を得られにくい状況で出産を向かえる場合もあります。全ての妊婦が安心して妊娠期を過ごすことができ、妊娠期より出産や子育てのイメージができるよう、個別の状況に応じた情報提供や継続的な支援が必要です。

平成30年度より「子育て世代包括支援センター」を設置し、妊娠期からの切れ目ない相談支援を行うとともに産前産後の支援を強化し、妊産婦や乳幼児等の健康保持増進のために保健指導、健康診査を実施してきました。また、令和7年度からは、子ども家庭総合支援拠点（児童福祉）と子育て世代包括支援センター（母子保健）が統合され、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもを対象として包括的な支援を行う「こども家庭センター」として事業を実施しています。妊婦相談、乳児訪問等で対象者が抱える課題の把握を行い、支援プランを作成し、関係機関と連携して支援を行っています。

妊娠届出数は年々減少していますが、妊娠届出の適正時期を超える満12週以降に妊娠届出をする妊婦が1割います。適正時期内の妊娠届出と妊婦健康診査の重要性について周知を強化するとともに、医療機関等と連携し継続した支援が必要です。

飲酒している妊婦の割合0%に対し、喫煙している妊婦が一定数います。妊娠中の喫煙は、胎児の成長を妨げ、低出生体重児増加の要因になることから、母子健康手帳交付以前の、早い段階から正しい知識の普及が必要です。

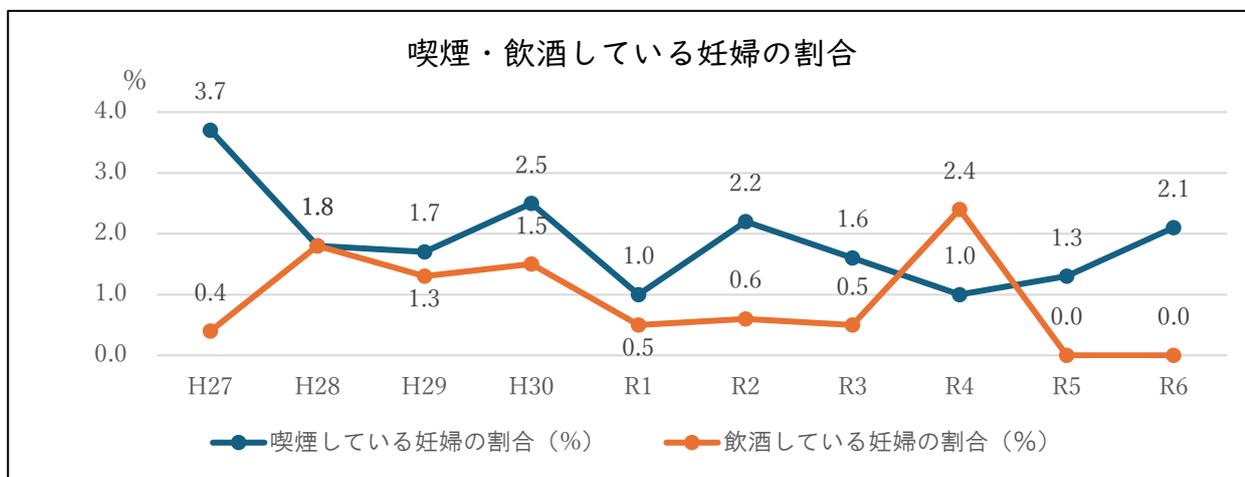


出典：人口動態統計(平成26～令和4)、山形県社会的移動人口調査(令和5、6)

妊娠届出・母子健康手帳交付状況

年度	届出総数	満11週以内		満12～19週	満20～27週	満28週以上	分娩後	手帳交付数(冊)
		数(人)	率(%)	数(人)	数(人)	数(人)	数(人)	
R2	180	165	91.7	13	2	0	0	183
R3	182	165	90.7	17	0	0	0	186
R4	206	189	91.7	14	0	1	2	206
R5	159	137	86.2	21	0	1	0	161
R6	145	130	89.7	14	1	0	0	146

出典：健康課 妊娠届出・母子健康手帳交付状況



出典：健康課 母子手帳交付時アンケート

【施策の方向性と主な取組み】

こども家庭センターを拠点として、母子健康手帳交付や産前産後サポート事業、乳児家庭全戸訪問事業等を行うことで、妊娠期から出産・子育て期まで一貫して身近で相談に応じ、必要なサービスにつなぐ伴走型相談支援を強化し、相談支援体制を充実させます。特に、妊産婦の産前産後のメンタルヘルスにおいては、医療機関等との連携支援を行います。また、全ての妊産婦に対し、安心安全で健やかな妊娠・出産・子育てをサポートするために、母子保健や経済的支援を推進します。

(1) 取組み目標

妊娠期から出産・子育て期までの切れ目ない支援体制の充実

①母子健康手帳の交付

妊娠届出・母子健康手帳交付時に面談を行い、必要な情報提供や相談に応じるとともに、今後の妊娠生活・出産・産後の育児における課題やニーズを把握し、伴走型相談支援をスタートする機会とします。

評価指標	現状値	目標値	算出指標/データベース
妊娠11週以内の妊娠届出率	89.7%	95%	妊娠届出数

②産前産後サポート事業

妊婦やその夫を対象に、産後間もない時期の子育てがイメージできるよう、実技や交流を内容とした両親学級を開催し、安心して赤ちゃんを迎えることができるように支援していきます。また、産後1か月までの産婦に対し、産後サポート電話相談を行い、産婦の状況を把握し相談に応じた適切な支援を行います。

評価指標	現状値	目標値	算出指標/データベース
両親学級「プレママ広場」への参加率	32.2%	40%	両親学級参加者数（妊婦）/対象妊婦
産後サポート電話相談の実施率	100%	現状維持	産後サポート電話相談実施件数/対象産婦

③産後ケアの充実

退院後の母子に対し、短期入所、通所又は訪問の形態により、助産師等による保健指導、育児相談、産婦の心身のケアを行います。

評価指標	現状値	目標値	算出指標/データベース	
産後ケア事業の利用率	通所または訪問 ^{※3}	17.5%	20%	産後ケア利用者（実人数）/産婦
	短期入所 ^{※4}	-	10%	

※3 通所や訪問により、助産師等が母親と乳児の心身ケア等を行うサービス

※4 医療機関等に宿泊して、助産師等が母親と乳児の心身ケア等を行うサービス

(2) 取組み目標 産前産後のメンタルヘルスにおける連携支援

①乳児家庭全戸訪問事業

産後うつや育児不安へ対応するため、概ね生後2か月までの間に、全ての乳児家庭に対し訪問を行います。また、訪問時、産後うつ病質問票による産後うつハイリスク者のスクリーニングを行い、個々の状態に応じて必要な支援を継続して行います。

評価指標	現状値	目標値	算出指標/データベース
産後うつハイリスク者の割合	9.1%	5%	乳児家庭全戸訪問時の産後うつ病質問票9点以上の者の割合

②特に支援を必要とする妊産婦への早期対応と連携支援の推進

若年妊婦や精神疾患を持つ妊婦等、特に支援を必要とする妊産婦について、支援プランを作成し、関係機関や多職種と連携することで、産前産後のメンタルヘルスにおける継続支援を行います。

(3) 取組み目標 母子保健の推進と経済的支援の充実

①妊婦健康診査事業【R8 拡充】

安心・安全な妊娠・出産のため、妊婦健康診査受診券を交付し、適切な時期に妊婦健康診査を受けることができるように受診勧奨を行います。また、支援が必要な妊婦について、産科医療機関と連携した支援を行います。令和8年度より妊婦健康診査公費負担額を拡充するとともに、新たに、多胎妊娠の妊婦に対して公費負担の上乗せを行い、経済的負担の軽減を図ります。

②妊産婦への受動喫煙防止・禁酒の指導・啓発

妊産婦の喫煙や受動喫煙は母子ともに健康状態に悪影響を及ぼすため、母子健康手帳交付時や両親学級、乳児家庭全戸訪問時に母親と家族への禁煙指導と啓発を行います。また、アルコールは胎盤を通過しやすく、妊娠中の習慣的な飲酒は流産や早産、胎児の発育に悪影響を及ぼすため、母子健康手帳交付時に確認し、禁酒指導に努めていきます。

評価指標	現状値	目標値	算出指標/データベース
喫煙している妊婦の割合	2.1%	0%	妊娠届出時アンケート
飲酒している妊婦の割合	0%	現状維持	妊娠届出時アンケート

③妊婦のための支援給付金交付事業

全ての妊産婦に、妊娠初期と出産後の各時期に面談を行い伴走型相談支援を行うとともに、妊婦のための支援給付金を支給することで経済的負担の軽減を図ります。

④新生児聴覚検査費助成【R8拡充】

聴覚異常の早期発見・早期療育を図るために全ての新生児を対象として新生児聴覚検査を行うことが重要です。受検者の経済的負担を軽減するため検査費用の助成を推進します。

⑤産婦健康診査事業【R8新規】

産後2週間、産後1か月など出産後間もない時期の産婦健康診査の実施により、産後の初期段階における産婦の健康に対する支援を行います。また、健診費用の助成により経済的負担の軽減を図ります。

⑥1か月児健康診査【R8新規】

1か月児健康診査の実施により、委託先の産科医療機関と連携し、効果的な伴走型相談支援や虐待の予防・早期発見に努めます。また、健診費用の助成により経済的負担の軽減を図ります。

⑦生殖補助医療費助成

令和4年より生殖補助医療費の保険適用が開始されましたが、先進医療等の治療については、保険適用外のため治療にかかる経済的な負担が大きくなることから、不妊に悩む夫婦の経済的負担を軽減できるよう助成を行います。

基本目標 2 成長段階に応じた乳幼児の成長・発達を促す支援体制の充実

(乳幼児期・子育て期)

【現状と課題】

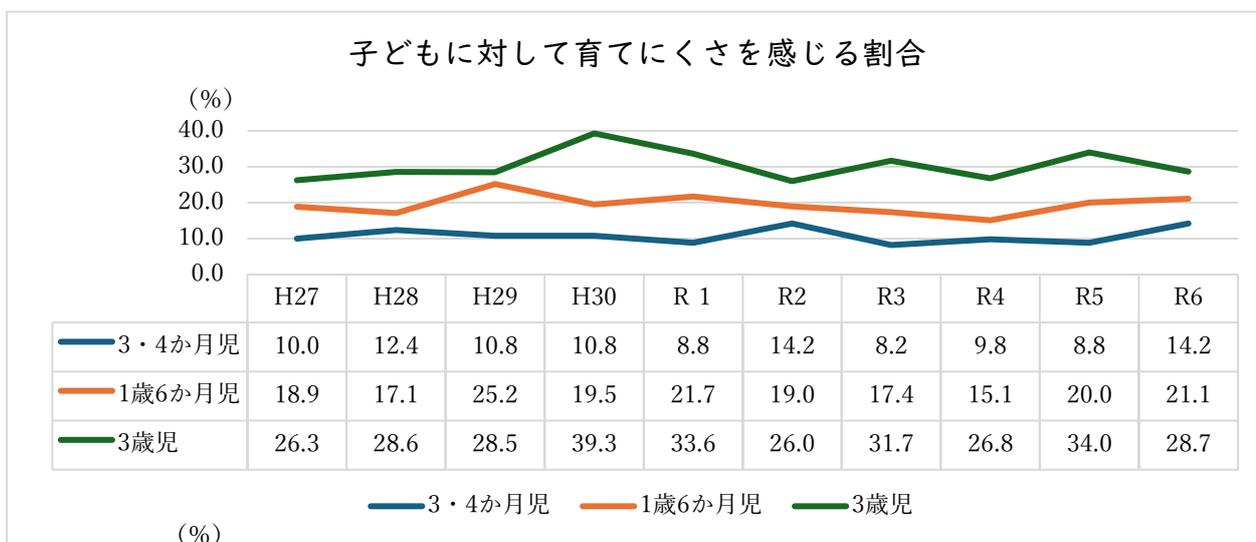
乳幼児期は、心と体の基礎を形成するための大切な時期であり、心身ともに未熟な乳幼児は、養育者の影響を受けやすく、適切な養育環境の中で生活することが重要です。

3歳児健診時のアンケートでは、約3割の親が子どもに対して育てにくさを感じており、その要因には子どもの成長・発達などの他に、核家族化の進行やひとり親家庭の増加などにより、相談できる相手が身近にいないことなどが考えられます。子育てが家庭が孤立しないよう、また、安心して子育てができるよう、すべての子ども・子育てに関する困りごとに対応できる総合的な相談窓口及び地域や関係機関と連携した支援体制が求められています。また、共働き世帯の増加により日中相談できないなどの状況も踏まえ、オンラインを活用した相談支援の充実も必要とされています。

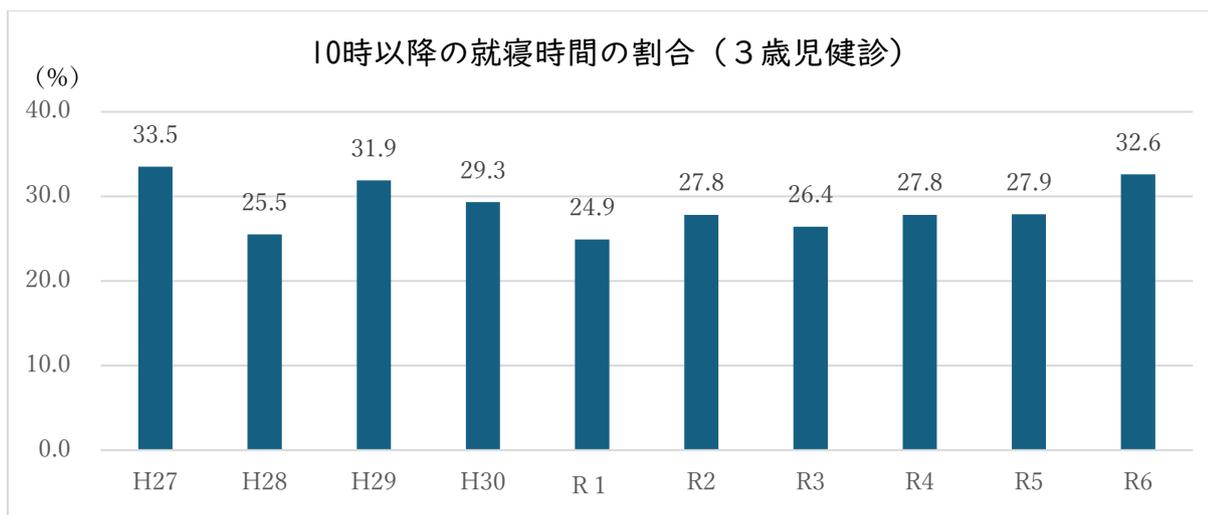
3歳児の就寝時間を見ると、就寝時間が10時以降になる幼児が約3割おり、心身の成長・発達への影響が心配されます。また、3歳児のおし歯の状況を見ると、おし歯のない割合は改善傾向にあります。引き続き幼児の健全な生活習慣の確立と健康増進への継続した支援が必要です。

本市における児童虐待通告件数は、増加傾向にあります。母子保健事業を通じて、乳幼児に対する虐待を早期に発見し対応ができるよう、福祉・教育・医療・地域支援団体などの関係機関と連携し、児童虐待への取組みの強化が求められています。

更に、障がいのある乳幼児や、さまざまな支援を必要とする乳幼児とその家庭が、地域で安心して子育てができ、子どもの成長を促すための支援を受けることができるよう、相談体制の充実が求められています。すべての子どもが乳幼児期において、健全な成長・発達が促進されるように、就学までの切れ目ない健診等の支援体制の構築が課題となっています。



出典：健康課 乳幼児健康診査



出典：健やか親子 21（第2次）の指標 乳幼児健康診査必須項目

乳幼児健診の実施状況

（単位：人）

R 6	対象児数	受診児数	受診率 (%)	未受診児数	未把握数
4か月児健診	148	148	100	0	0
1歳6か月児健診	174	171	98.3	3	0
3歳児健診	184	181	98.4	3	0

出典：健康課 乳幼児健康診査

児童虐待にかかる対応件数

		R元	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
新 庄 市	通告件数	7	2	13	17	15	29
	認定件数	7	0	8	14	8	25
山 形 県	通告件数 (児相+市町村)	1,534	1,436	1,176	1,104	1,287	-
	認定件数	847	733	617	655	869	-

出典：子育て推進課

【施策の方向性と主な取組み】

乳幼児健診等母子保健事業を活用し、成長段階に応じた乳幼児の成長・発達を促す支援を行うとともに、子育てに困難さを抱える保護者に寄り添い、個別のケースに応じた支援を行います。

乳児期から就学までの切れ目ない支援を更に強化して行うために5歳児健診や健診事後相談を充実させ、関係者間の連携によるスムーズな支援体制を構築していきます。

また、障がいの有無に関わらず、養育に困難さを抱える家庭に対し、こども家庭センターを拠点とし地域や民間の子育て支援機関等と連携を行い、継続した支援を行うことで、児童虐待を未然に防ぐよう取り組みます。

(1) 取組み目標 母子保健事業を活用した子ども・子育て支援の充実

①乳幼児健診を通じた子ども・子育て支援

各時期の健診を通じて、乳幼児の成長・発達を確認するとともに、健全な生活習慣の確立と健康増進への継続した支援を行います。また、子育てに困難さを抱える保護者に寄り添い、個別のケースに応じた支援を行います。

評価指標	現状値	目標値	算出指標/データベース
10時以降の就寝時間の割合（3歳児）	32.6%	25%	3歳児健診アンケート
子どもに対して育てにくさを感じる割合（3歳児）	28.7%	20%	3歳児健診アンケート

②離乳食教室や乳幼児相談による子育て支援

栄養士による離乳食教室や、保健師や栄養士による健康・育児相談を定期的で開催し、子育てに関する悩みの解消、育児支援を行っていきます。

③5歳児健診実施による就学までの切れ目ない支援体制の構築【R8新規】

5歳児（年中児）を対象に、社会性や言語発達面等の成長・発達を確認し、スムーズに就学につなげることができるよう、保育機関や多職種と連携し、保護者が適切な対応ができるよう支援につなげます。

④歯科健診によるむし歯・歯周病予防と正しい知識の普及

1歳6か月児健診、2歳児歯科健診、3歳児健診において、歯科健診と保健指導を行います。また、各健診で希望する幼児にフッ化物の塗布を行い、かかりつけ歯科医での継続塗布を勧めていきます。

評価指標	現状値	目標値	算出指標/データベース
むし歯のない割合（3歳児）	92.3%	95%	3歳児健診

⑤予防接種による感染症予防

乳幼児健診等の機会に定期予防接種の接種状況を確認し、感染予防のため適切な時期に接種するように指導を行います。

(2) 取組み目標

特に支援を必要とする子ども・子育て家庭への支援の充実

①養育支援訪問事業

乳児家庭全戸訪問事業や乳幼児健診等により把握した支援を必要とする家庭に対し、養育に関する相談、指導等を関係機関や多職種と連携し、家庭における適切な養育支援を行い、児童虐待を未然に防ぐよう取り組みます。

評価指標	現状値	目標値	算出指標/データベース
児童虐待認定件数	8件(R5)	0件	子育て推進課

②臨床心理士による発達支援相談事業【R8新規】

ことばの遅れや発達面が心配される幼児を対象に、保健師及び臨床心理士が相談に応じ、助言指導等を行います。子どもや保護者の困り感に寄り添い、必要に応じて療育や医療につなげ、支援を行います。

③障がい児等支援の充実

障がいのある子どもや、さまざまな支援を必要とする子どもとその家庭が地域で安心して生活ができるように、母子保健の枠組みを超え医療・福祉と連携し情報提供や支援を継続して行っています。

(3) 取組み目標 子どもや子育て家庭のための相談支援体制等の充実

①こども家庭センターを拠点とする相談支援体制の充実

妊娠期から子育て期まで切れ目のない相談支援により、子どもや子育て家庭が孤立しないように相談しやすい体制を充実させます。

評価指標	現状値	目標値	算出指標/データベース
こども家庭センターの認知度	-	100%	子育て推進課アンケート調査

②母子手帳アプリすくすく Shinjo

母子手帳アプリにより、保護者に対し子どもの予防接種や成長記録の管理を促し、市の育児情報や地域の情報を提供していきます。

③母子保健オンライン相談事業 (R7～)

妊娠期から子育て期までの市民が、オンラインで医師・助産師へ24時間相談できる体制を整備し、妊娠・出産・子育ての悩みや不安に対し支援します。

評価指標	現状値	目標値	算出指標/データベース
オンライン相談認知度	-	100%	4カ月児健診アンケート

④地域や民間の子育て支援機関等との連携

地域子育て支援センターや民生・児童委員、民間の子育て支援機関等と連携し、子どもの健全な育成や子育て家庭への支援を行っていきます。

基本目標3 子ども・若者が自ら心身の健康を考え、行動できるまちづくり (学童期～青年期)

【現状と課題】

中学生を対象にしたアンケートでは、将来の喫煙について「たぶん吸う」「絶対吸いたい」と回答した割合が10%に近い結果となっています。また、性感染症の予防について「知っている」と回答した割合は改善傾向にありますが、引き続き喫煙による健康被害や、性感染症に関する正しい知識の普及・啓発が必要です。また、薬物を断ることができる中学生の割合が増加していることから、引き続き薬物に関する知識の普及・啓発が必要です。

近年、子どもを取り巻く社会・家庭環境が多様化・複雑化してきており、心や体の不調を抱える子どもや若者が増加しています。子ども自身が自ら心身の不調に気づき、相談できるような教育や環境の整備が必要です。

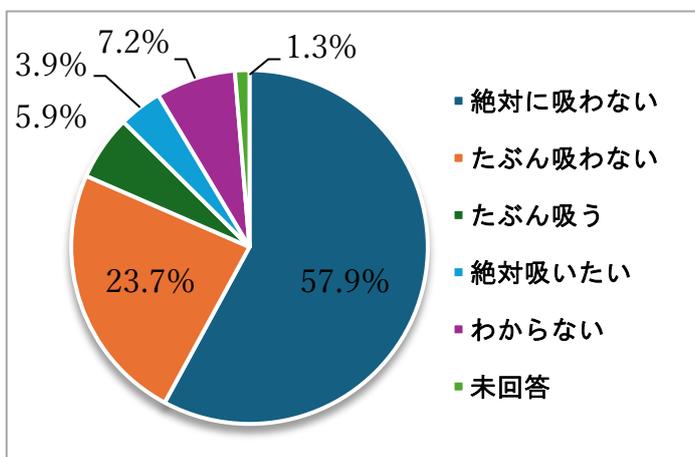
妊娠届出の適正時期を過ぎて妊娠届出をする妊婦が1割います。また、2500g未満で生まれる低出生体重児の出生割合は令和4年においては全国や県より高い水準にあります。妊婦健康診査は、母子の健康状態を定期的に確認するために行うものであり、妊娠高血圧症候群や妊娠糖尿病等の早期発見により早産や切迫早産の予防につながります。そのため、学校教育段階からの、妊娠や出産等に関する正しい知識の普及が必要です。

また、男女を問わず性や妊娠に関する正しい知識の普及を図り、健康管理を行うよう促すプレコンセプションケア^{※5}に関する普及・啓発が求められています。

※5 性別を問わず、適切な時期に、性や健康に関する正しい知識を持ち、妊娠・出産を含めたライフデザイン（将来設計）や将来の健康を考えて健康管理を行う概念（出典：こども家庭庁）

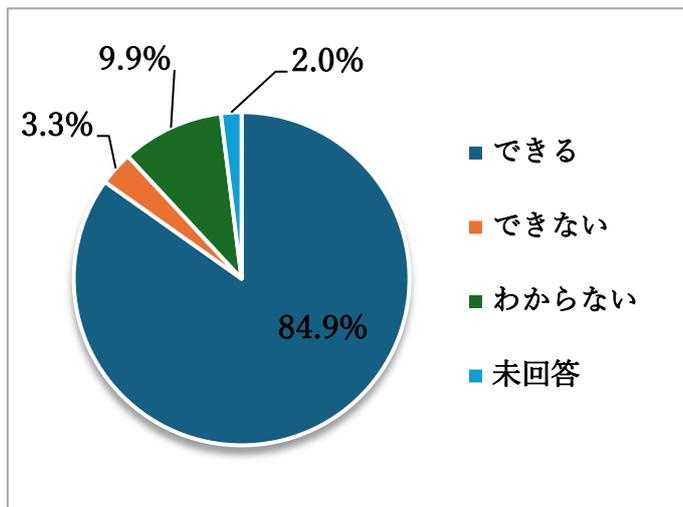
タバコを吸いたいと思う割合

(問：大人になったらタバコを吸いたいと思いますか)



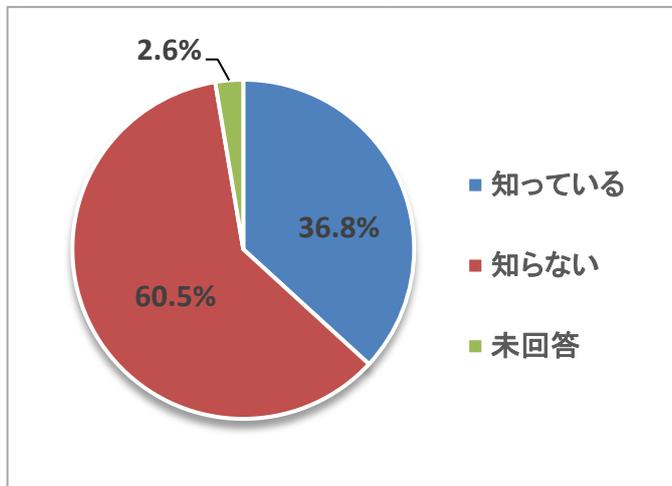
薬物を勧められたら断ることができる割合

(問：シンナー・麻薬・覚せい剤などに誘われたら断ることができますか)



コンドームがエイズや性感染症の予防になることを知っている割合

(問：エイズや性感染症の予防にコンドームが有効であることを知っていますか)



出典：いきいき健康づくりアンケート
(市内中学2年生相当 152名)

【施策の方向性と主な取組み】

子ども・若者が自ら心身の健康に関心を持ち、考え行動できるように、関係機関や学校と連携し、正しい生活習慣や健康について普及・啓発していきます。特に、タバコや薬物、性に関する知識の普及・啓発を充実させます。

また、子どもが自分自身の心身の不調に気づき、適切な相談ができるように教育等を推進します。学童期より、男女ともに性や妊娠・出産に関する正しい知識を持ち、健康管理を行うことで、将来の妊娠・出産を含めた将来設計がイメージでき、また将来の健康を考えて行動できるように、プレコンセプションケアの概念を普及・啓発していきます。

(1) 取組み目標 子ども・若者への心身の健康等に関する普及・啓発

①喫煙や性感染症予防、薬物に関する正しい知識の普及・啓発

喫煙による健康への影響や受動喫煙防止について普及・啓発を行います。

性感染症予防・薬物乱用防止について正しい知識の普及・啓発を行います。

評価指標（中学生）	現状値	目標値	算出指標/データベース
タバコを吸いたいと思う割合	9.8%	0%	いきいき健康づくりアンケート（市内中学生）
薬物を勧められたら断ることができると答える割合	84.9%	100%	
コンドームがエイズや性感染症の予防になることを知っている割合	36.8%	60%	

②こころの健康に関する普及・啓発

児童生徒が困難を抱えた際に、自分の心の不調に気づき、適切に相談できるよう、SOSの出し方・受け止め方教育を関係機関や学校と連携し取り組みます。

評価指標	現状値	目標値	算出指標/データベース
SOSの出し方教育を実施した学校の数	1カ所	全小中学校	-

(2) 取組み目標 プレコンセプションケアの推進

① プレコンセプションケアの普及・啓発

学童期より、男女ともに性や妊娠に関する正しい知識を持ち、健康管理を行うことで、将来の妊娠・出産を含めた将来設計がイメージでき、また将来の健康を考えて行動できるように、普及・啓発を行います。

② 民間企業との連携協定によるプレコンセプションケアの推進

民間企業との連携協定によるプレコンセプションケアの普及・啓発を積極的に行います。

評価指標	現状値	目標値	算出指標/データベース
民間企業との連携協定によるプレコンセプションケアの普及・啓発の実施	なし	実施	-

第5章 計画の進行管理と評価

1. 計画の進行管理

本計画の進行管理については、母子保健に関する各種の進行管理と併せて行うものとし、また、新庄市母子保健計画策定委員会に取組み状況を報告し、意見を求めながら実施し、母子保健事業の効果的な推進に努めます。

2. 計画の評価

第4章に掲載した評価指標により、計画の見直しを行う令和11年度に分析を行い、目標の達成度を評価します。

【参考資料】

- ・ 第1次新庄市母子保健計画の最終評価
- ・ 新庄市の現状と課題
- ・ 健やか親子21（第2次）乳幼児健診データ
- ・ いきいき健康づくりアンケート（中学生）

第1次新庄市母子保健計画の最終評価

1. 新庄市母子保健計画（第1次）の基本理念・基本方針

(1) 基本理念

「すべての親と子が 健やかに育つまち 新庄」

すべての親子が健康・安全に生活でき、健やかに育つことのできる社会を目指します。

(2) 基本方針

目標1 妊婦やその家族が安心して妊娠・出産を迎えることができる

目標2 子どもが健やかに育つことができる

目標3 親が安心して子育てできる

目標4 子ども自身が自分のところとからだの健康を考え、行動できる

2. 最終評価の方法

令和6年度に実施した「いきいき健康づくりアンケート」^{注1)}のほか、母子保健事業の実績等により、目標値の進捗状況をAからEの区分で評価しました。

A	順調	計画策定時の値より改善しており、目標値に向けて順調に進んでいる、または目標値を達成しているもの
B	おおむね 順調	計画策定時の値より改善しており、おおむね順調に進んでいるもの
C	やや遅れ	計画策定時の値より改善していない（横ばい）、または改善しているが、目標値に向けて遅れているもの
D	遅れ	計画策定時の値よりも悪化しているもの
E	評価困難	設定した指標又は把握方法が異なる等の理由により評価が困難であるもの

注1) 「いきいき健康づくりアンケート」 令和6年9月～令和6年11月
調査対象者：市内中学生 271人
回答者数： 152人（回収率 56.1%）

3. 施策の展開別の最終評価

目標1 妊婦やその家族が安心して妊娠・出産を迎えることができる

① これまでの取り組み

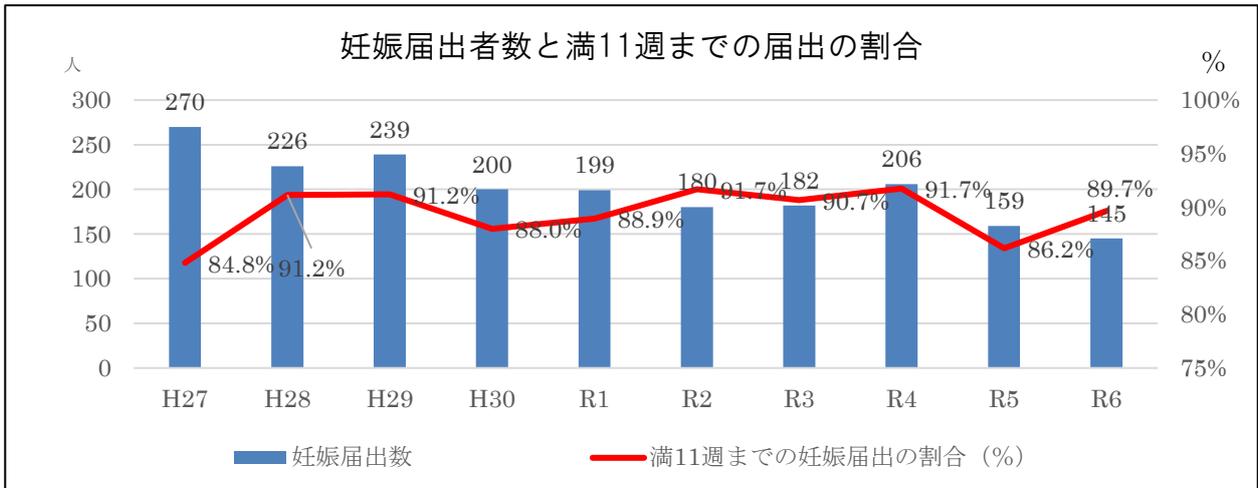
- ・医療機関と連携して要支援妊婦への支援。
- ・母子健康手帳の交付、赤ちゃん訪問、乳幼児健診等での受動喫煙防止に関する知識の普及啓発、禁煙指導。
- ・妊娠中の飲酒による胎児への悪影響について、母子健康手帳交付時に指導。
- ・妊娠前から、喫煙や飲酒が妊婦自身や胎児に悪影響を及ぼすことを広報等により周知。

② 評価

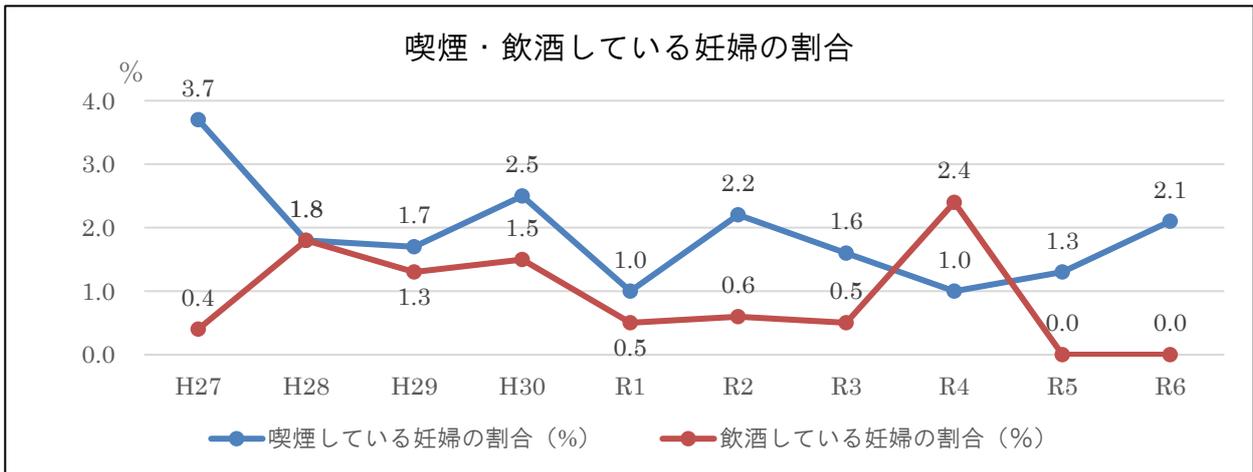
- ・満11週までの妊娠届出の割合は、策定時の割合から比較すると順調に増加しており、概ね目標値を達成している。
- ・喫煙している妊婦の割合は、策定時より4.1ポイント減少しているが目標値の達成には及ばなかった。中間評価時と比較すると1.1ポイント増加する結果となり、これは妊娠届出数が年々減少する中で、喫煙する妊婦が一定数いるためと考えられる。
- ・飲酒している妊婦の割合は、0.5ポイント減少し、目標を達成している。
- ・家庭で喫煙者がいる割合は、6.0ポイント減少し、目標を達成している。

項目	策定時 H26	達成状況 R1	達成状況 R6	最終 評価	目標値
満11週までの妊娠届出の割合	84.6%	88.9%	89.7%	B	90%
喫煙している妊婦の割合	6.2%	1.0%	2.1%	B	0%
飲酒している妊婦の割合	3.6%	0.5%	0.0%	A	0%
家庭で喫煙者がいる割合（4か月児）	64.6%	53.3%	47.3%	A	50%

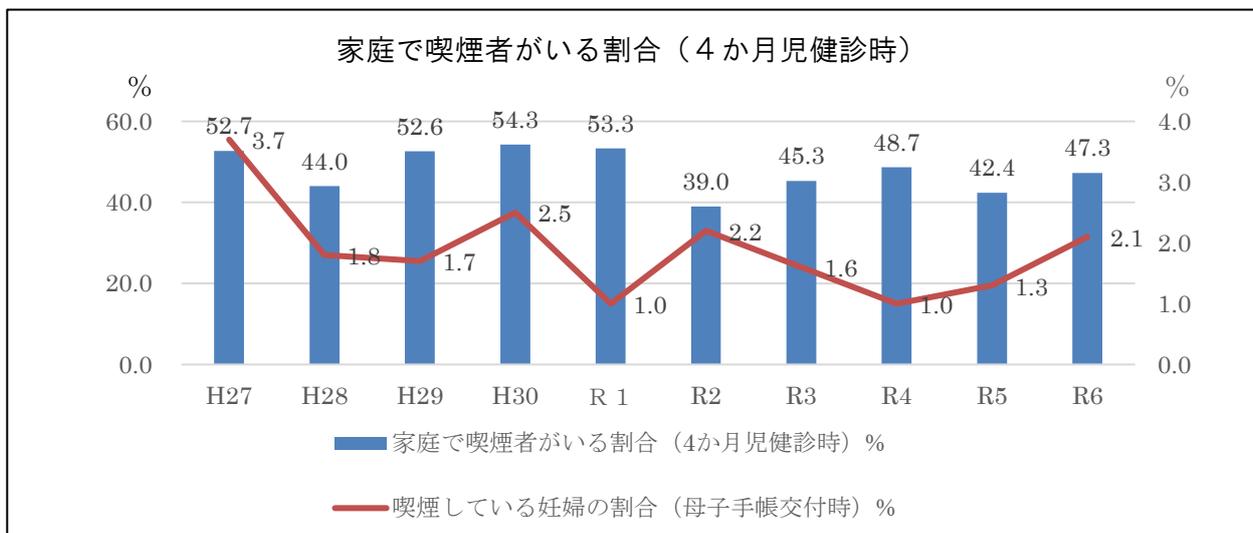
目標 1 資料



出典：新庄市 母子手帳交付時アンケート



出典：新庄市 母子手帳交付時アンケート



出典：新庄市 母子手帳交付時アンケート 乳幼児健康診査

目標2 子どもが健やかに育つことができる

① これまでの取り組み

- ・テレビやスマートフォン、タブレットといったメディアが子どもの発育発達に及ぼす影響を乳幼児健診時に指導。
- ・1歳6か月児健診及び2歳児歯科健診、3歳児健診時にフッ化物歯面塗布、ブラッシング指導、むし歯予防を推進。
- ・口腔衛生意識普及向上事業「お祭り歯っぴい」のイベント等を通し、むし歯予防、保護者の歯周疾患予防についての普及啓発。
- ・歯と口の健康週間において、健康だよりや広報でむし歯予防について周知。
- ・3歳児健診で肥満リスクのある児へ栄養指導。

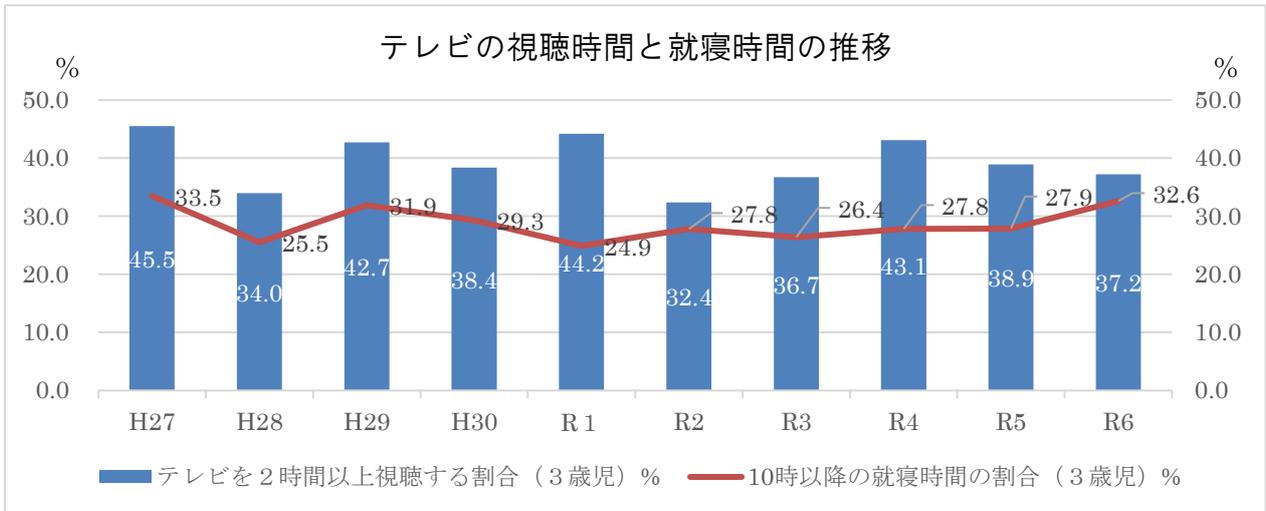
② 評価

- ・10時以降の就寝する3歳児の割合は、策定時より低下しているが、令和元年度より7.7ポイント上昇し目標値の達成には及ばなかった。
- ・テレビを2時間以上視聴する3歳児の割合は改善し、目標値を達成している。
- ・定期的な歯科検診や保健指導により、3歳児のむし歯のない割合は7.7ポイント上昇し、目標値を達成している。
- ・2回以上間食する割合は8.3ポイント増加しており、休日に回数が増える傾向がある。

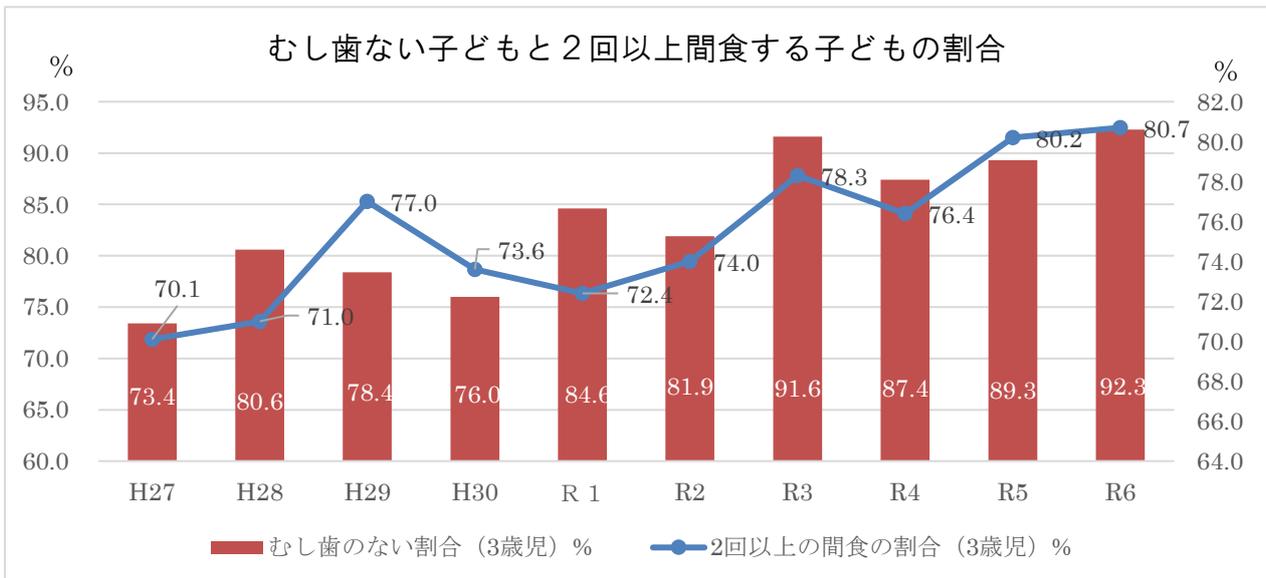
項目	策定時 H26	達成状況 R1	達成状況 R6	最終 評価	目標値
10時以降の就寝時間の割合（3歳児）	35.8%	24.9%	32.6%	C	30%
テレビを2時間以上視聴する割合（3歳児）	51.3%	44.2%	37.2%	A	45%
むし歯のない割合（3歳児）	75.3%	84.6%	92.3%	A	85%
2回以上の間食の割合（3歳児）	69.6%	72.4%	80.7%	D	50%

出典：新庄市 母子手帳交付時アンケート 乳幼児健康診査

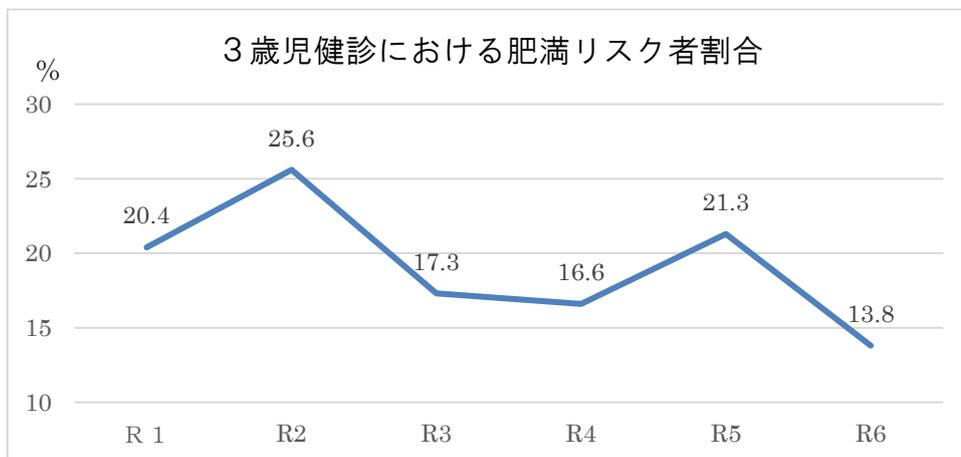
目標 2 資料



出典：新庄市 乳幼児健康診査



出典：新庄市 乳幼児健康診査



※3歳児健診における肥満リスク者＝
1歳6か月児健診 BMI < 3歳児健診 BMI

出典：新庄市 乳幼児健康診査

目標3 親が安心して子育てできる

① これまでの取り組み

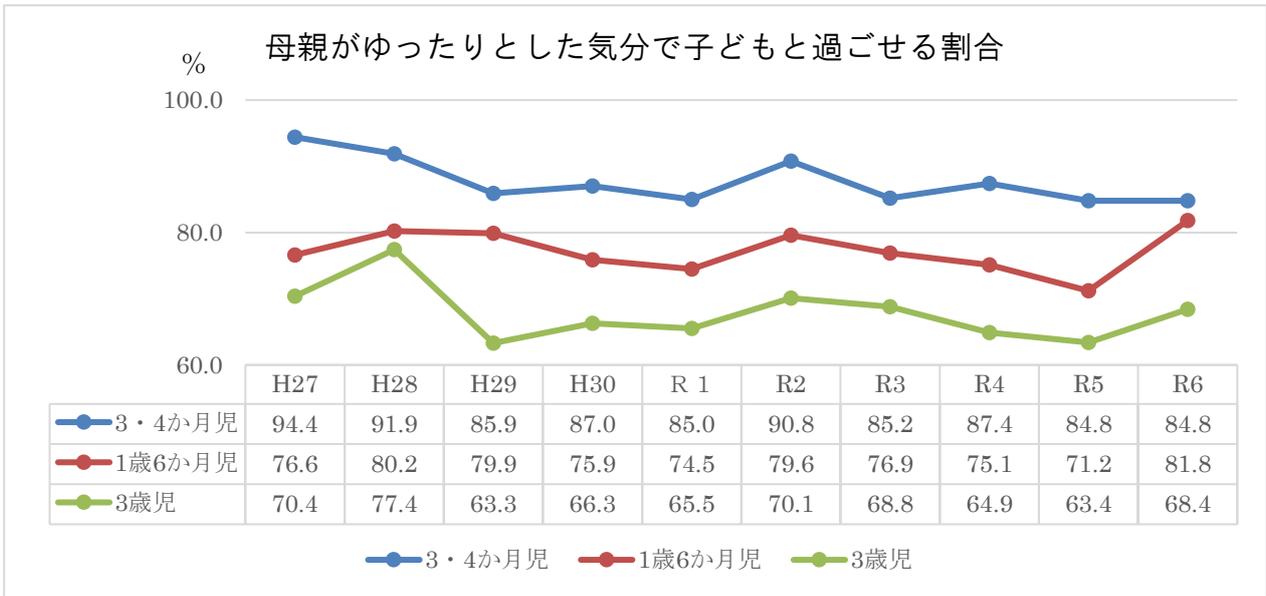
- ・乳幼児相談、すこやかこども相談、産前産後サポート事業を通じた個別相談。
- ・平成30年4月より、新庄市子育て世代包括支援センターを開設し、支援が必要と判断したケースの支援計画を作成し、関係機関と連携しながら切れ目なく支援を実施。
- ・令和7年4月より、「子ども家庭総合支援拠点」（児童福祉）と「子育て世代包括支援センター」（母子保健）を統合した、全ての妊婦、子育て世帯、子どもを対象とする包括的な相談支援を行う新庄市こども家庭センター「にこっと」の設置。
- ・子育て推進課や保育所・幼稚園等と連携し、発育発達の気になる幼児や要保護児童等のフォロー、さらに医療機関への受診勧奨や巡回相談を活用しての経過観察。

② 評価

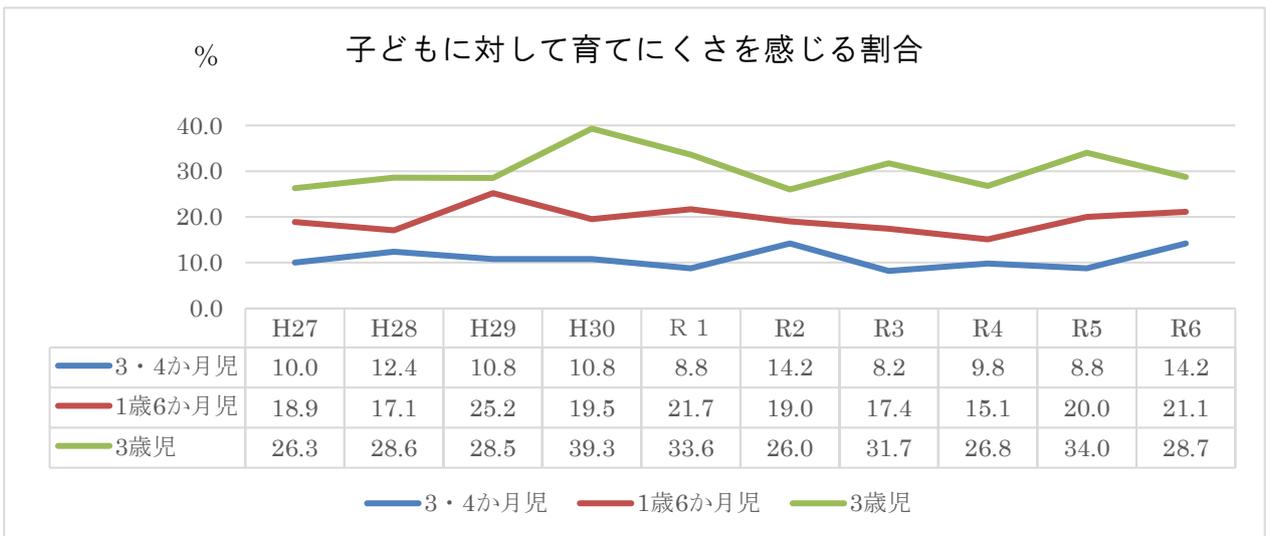
- ・3歳児の母親がゆったりとした気分で子どもと過ごせる割合は令和元年度より2.9ポイント増加した。
- ・子どもに対して育てにくさを感じる3歳児の母親は4.9ポイント減少したが、策定時よりも増加傾向にある。出生数は減少する一方で、養育支援が必要なケースは増加しており、専門的な支援を必要とするケースが増えている。
- ・麻疹風疹I期接種率は、1歳6か月児健診のときに接種勧奨のチラシを配布し、意識づけの効果により策定時より増加したが、目標値の達成には及ばなかった。

項目	策定時 H26	達成状況 R1	達成状況 R6	最終 評価	目標値
母親がゆったりとした気分で子どもと過ごせる割合（3歳児）	73.2%	65.5%	68.4%	D	85%
子どもに対して育てにくさを感じる割合（3歳児）	27.3%	33.6%	28.7%	D	20%
麻疹風疹I期の接種率（1歳6か月児）	89.5%	95.7%	92.4%	C	100%

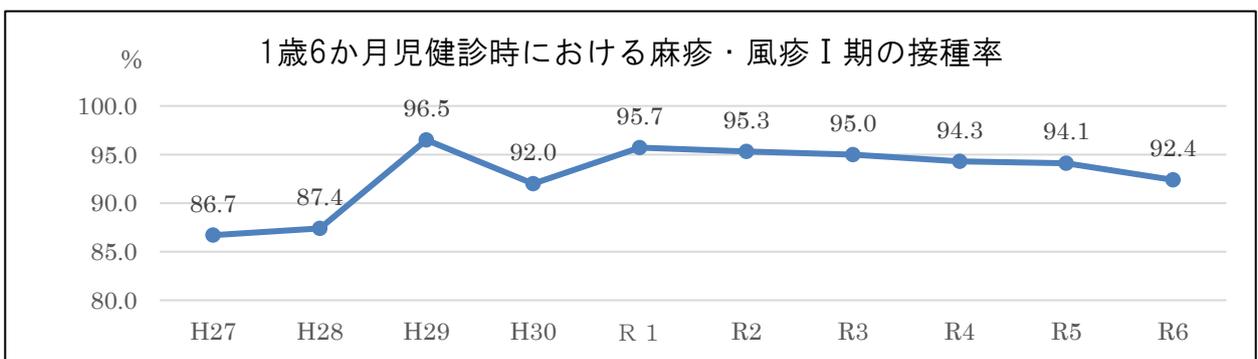
目標3資料



出典：健やか親子21（第2次）の指標 乳幼児健康診査必須項目



出典：健やか親子21（第2次）の指標 乳幼児健康診査必須項目



出典：健やか親子21（第2次）の指標 乳幼児健康診査必須項目

目標4 子ども自身が自分のこころとからだの健康を考え、行動できる

① これまでの取り組み

- ・喫煙や受動喫煙に関する健康への悪影響について、広報や健康だよりで啓発。
- ・地区公民館等での受動喫煙防止を推進するための健康教育や出前講座。
- ・イベント等で受動喫煙防止についての啓発活動。
- ・毎年、警察や薬剤師など外部講師による中学校ごとの薬物乱用防止教室開催。
- ・保健教科での指導及びポスター掲示や文科省のパンフレットを活用した普及啓発。

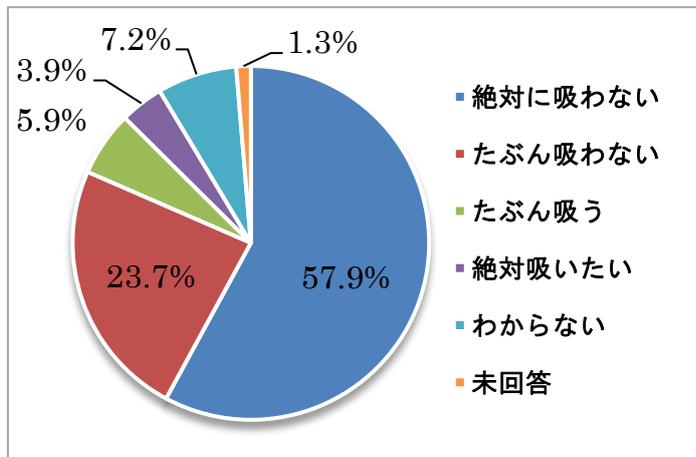
② 評価

- ・タバコを「たぶん吸う」又は「絶対吸いたい」と回答した中学生の割合は策定時と比べて増加しており、状況は悪化している。
- ・薬物を断ることができる中学生の割合は令和元年度と比べて1.2%増加しており、「できない」又は「わからない」と回答した中学生の割合は14.5%（R1）から13.2%に減少している。
- ・中学生が性感染症の予防について「知っている」と回答した割合は令和元年度と比べて7.8%増加しているが、目標値の達成には及ばなかった。

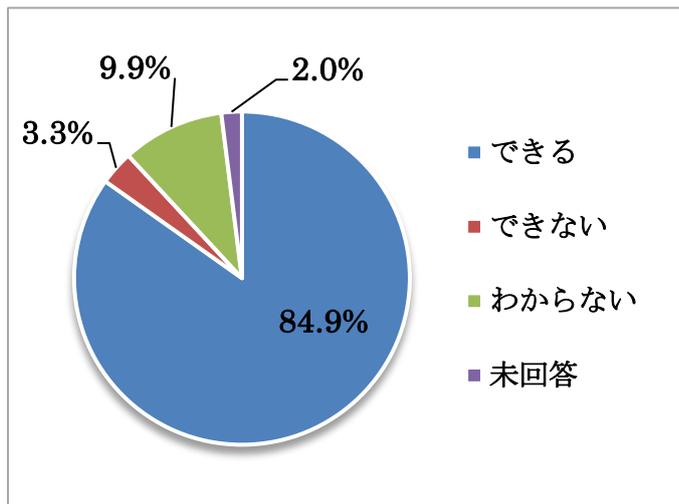
項目（すべて中学生）	策定時	達成状況 R1	達成状況 R6	最終 評価	目標値
タバコを吸いたいと思う割合	6.7%	1.8%	9.8%	D	0%
薬物を勧められたら断ることができる と答える割合	81.3%	83.6%	84.9%	B	100%
コンドームはエイズや性感染症の予防 になることを知っている割合	32.2%	29.0%	36.8%	C	60%

目標 4 資料

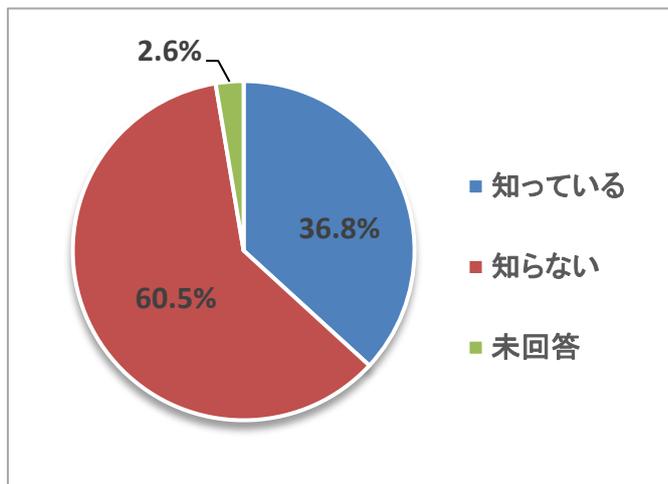
大人になったらタバコを吸いたいと思いますか



シンナー・麻薬・覚せい剤などに誘われたら断ることができますか



エイズや性感染症の予防にコンドームが有効であることを知っていますか



出典：いきいき健康づくりアンケート
(市内中学 2 年生相当 152 名)

3. 総合的な評価

目標	指標数	進捗状況				
		A	B	C	D	E
		順調	おおむね順調	やや遅れ	遅れ	評価困難
1. 妊婦やその家族が安心して妊娠出産を迎えることができる	4	2	2			
2. 子どもが健やかに育つことができる	4	2		1	1	
3. 親が安心して子育てできる	3			1	2	
4. 子ども自身が自分のところとからだの健康を考え、行動できる	3		1	1	1	
計	14	4	3	3	4	0
	100%	28.6%	21.4%	21.4%	28.6%	0%

14 指標のうち、7 指標で、現状値が策定時の値より改善し、目標値に向けて「順調」または「おおむね順調」に進捗していると評価しました。

しかし、進捗状況が十分でなく、または悪化しているために「遅れ」「やや遅れ」と評価した指標も 7 指標ありました。

4. 評価より見えた課題

○目標 1 妊婦やその家族が安心して妊娠・出産を迎えることができる

- ・妊娠届出の適正時期を超える満 11 週以降に妊娠届出をする妊婦が 1 割います。適正時期内の妊娠届出と妊婦健康診査の重要性について周知を強化すると共に、医療機関等と連携をとり継続した支援が必要です。
- ・現状では、喫煙している妊婦の割合は 2.1%であり、妊娠届出数が年々減少する中で、喫煙する妊婦が一定数いるためと考えられます。妊娠中の喫煙は、胎児の成長を妨げ、低出生体重児増加の要因になることから、母子健康手帳交付以前の、早い段階から正しい知識の普及が必要です。

○目標 2 子どもが健やかに育つことができる

- ・3 歳児の就寝時間を見ると、10 時以降の就寝が 32.6%となっており、こころの安定やからだの成長への影響が心配されます。
- ・3 歳児の 2 回以上の間食の割合は約 8 割で、増加傾向にあります。幼少期から正しい生活習慣を身につけ、むし歯や肥満等を防ぐことが重要です。

○目標3 親が安心して子育てできる

- ・母親がゆったりとした気分で子どもと過ごせる割合は、子どもの年齢が上がるほど減少しておりますが、特に、3歳児における割合は計画策定時より減少しています。本県の共働き率は59.9%と全国で2番目に高く、本市の共働き率は61.3%で県と比べて高くなっており、仕事に加え、家事・育児に関する女性の負担が多い事が考えられます。また、ひとり親世帯数も年々増加しており、核家族世帯のうち21.4%がひとり親となっています。(R2 国勢調査・人口等基本集計結果報告書)
- ・3歳児において、約3割の親が子どもに対して育てにくさを感じており、子どもの成長発達などの要因の他に、育児環境の変化による孤立などが考えられます。

○目標4 子ども自身が自分のところとからだの健康を考え、行動できる

- ・タバコを「たぶん吸う」又は「絶対吸いたい」と回答した中学生の割合は令和元年度と比べて8.0%と大幅に増加しており、策定時と比べても状況は悪化しています。喫煙は身体の健康に大きく影響するため、喫煙による健康被害に関する知識の普及啓発が必要です。
- ・薬物を断ることができる中学生の割合は令和元年度と比べて1.2%増加しており、「できない」又は「わからない」と回答した中学生の割合は14.5% (R1) から13.2% (R6) に減少しています。薬物を断ることができる中学生は多くなってきていますが、目標を達成することはできていないため薬物に関する知識の普及啓発が必要です。
- ・中学生が性感染症の予防について「知っている」と回答した割合は令和元年度と比べて7.8%増加していますが、目標値の達成には及びませんでした。性感染症に関する知識は広まりつつありますが目標を達成することはできていないため、正しい知識の普及啓発が必要です。

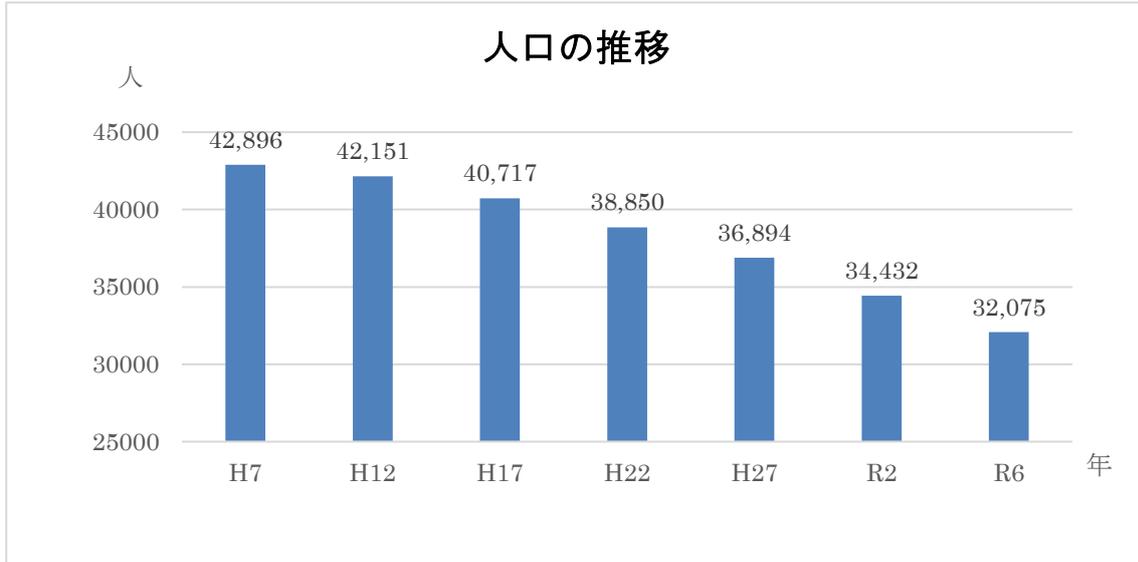
新庄市の現状と課題

1. 母子保健に関する統計

(1) 人口と世帯の動向

①人口

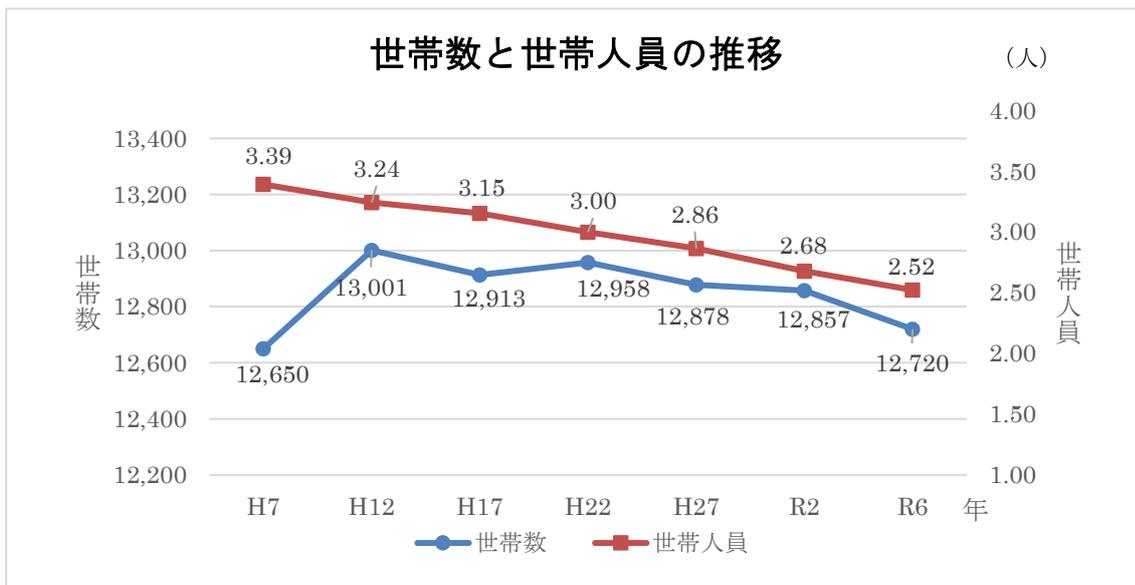
平成7年から令和6年までの人口推移をみると、減少傾向が続いています。この間において、25.2%（10,821人）減少しています。



資料：国勢調査（平成7～令和2）・山形県社会的移動人口調査（令和6）

②世帯及び世帯人員

令和6年の世帯数は12,720世帯で、平成7年と比べ70世帯増加しています。また、一世帯当たりの人員は減少が続き、令和6年で2.52人となっています。



資料：国勢調査（平成7～令和2）・山形県社会的移動人口調査（令和6）

③年齢3区分別人口

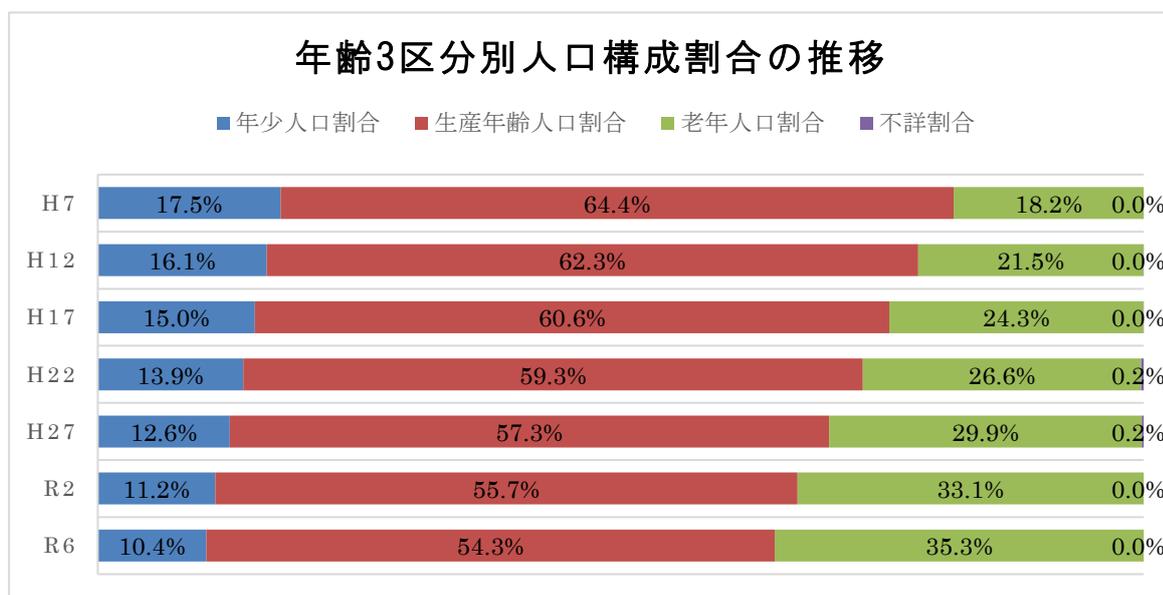
人口を年齢（3区分）別にみると、年少人口・生産年齢人口ともに年々減少しているのに対して、老年人口は令和2年まで増加しています。この結果、令和6年には老年人口の割合は35.3%を占め、年少人口10.4%の3倍以上の割合となっています。少子高齢化が急速に進んでいるといえます。

年齢3区分別人口

年次	総人口 (人)	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)
H7	42,896	7,494	27,608	7,794
H12	42,151	6,805	26,252	9,076
H17	40,717	6,120	24,694	9,892
H22	38,850	5,404	23,020	10,332
H27	36,894	4,659	21,136	11,034
R2	34,432	3,868	19,164	11,400
R6	32,075	3,332	17,431	11,312

※H12, 17, 22, 27年の総人口には不詳を含む。

資料：国勢調査（平成7～令和2）・山形県社会的移動人口調査（令和6）

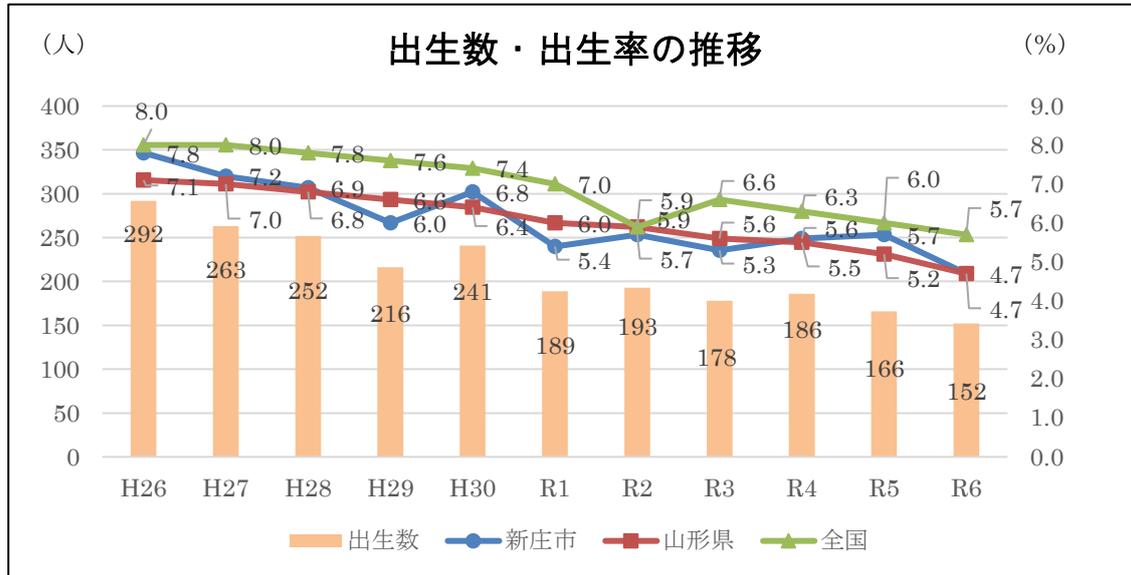


資料：国勢調査（平成7～令和2）・山形県社会的移動人口調査（令和6）

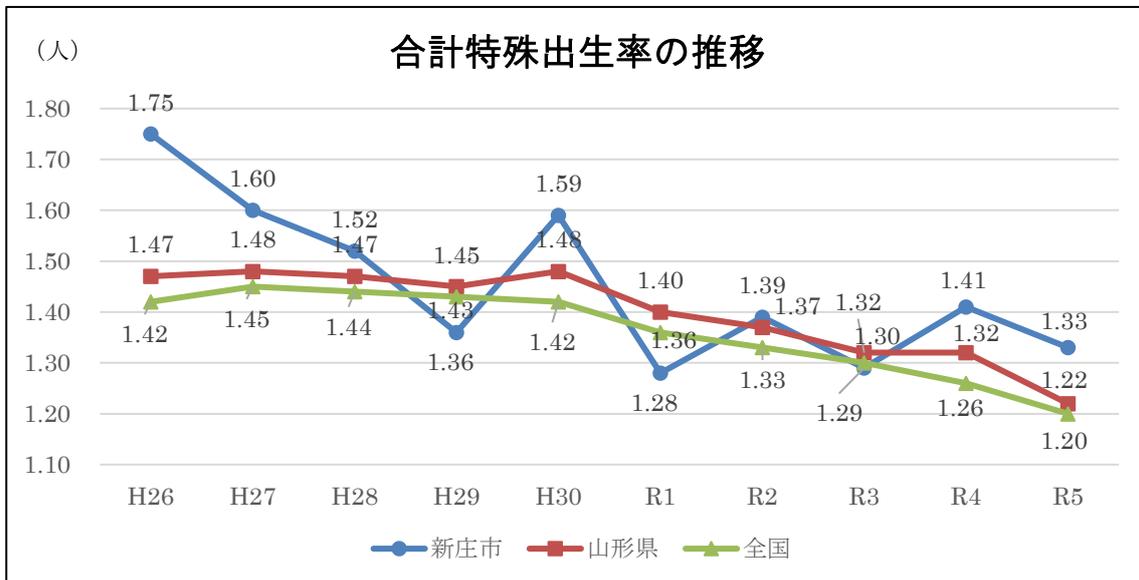
(2) 出生

① 出生数と出生率

出生数は減少傾向にあり、令和元年に初めて200人を割り、出生率（人口千対）も6.0を下回りました。合計特殊出生率も減少傾向にありますが、令和5年では全国・県よりも高い水準にあります。



資料：人口動態統計(平成26～令和4)、山形県社会的移動人口調査(令和5、6)



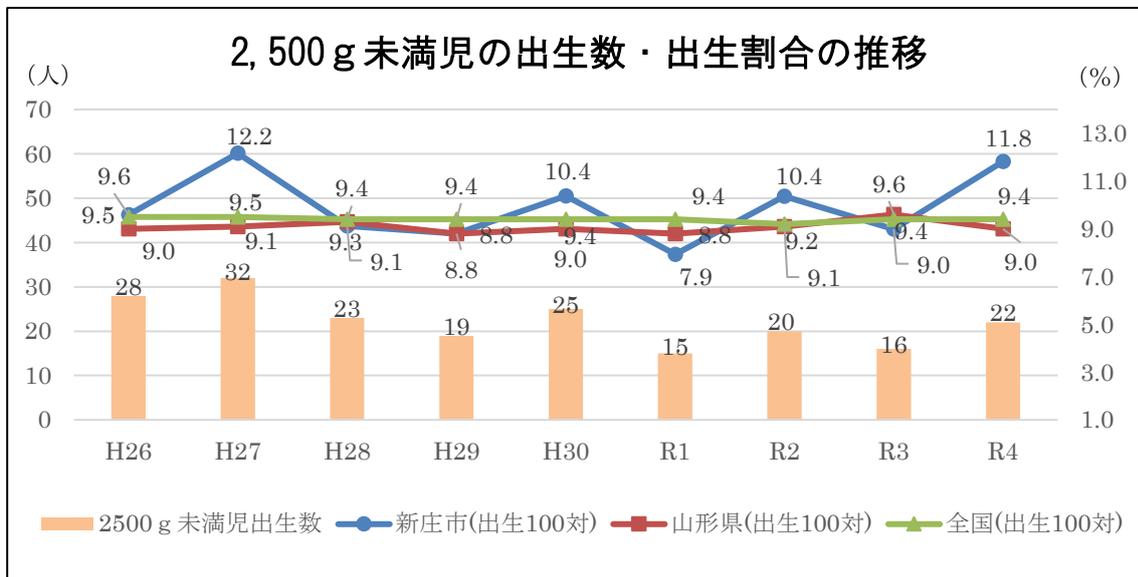
資料：保健福祉統計

※合計特殊出生率：一人の女性（15～49歳）が一生の間に産む子どもの数

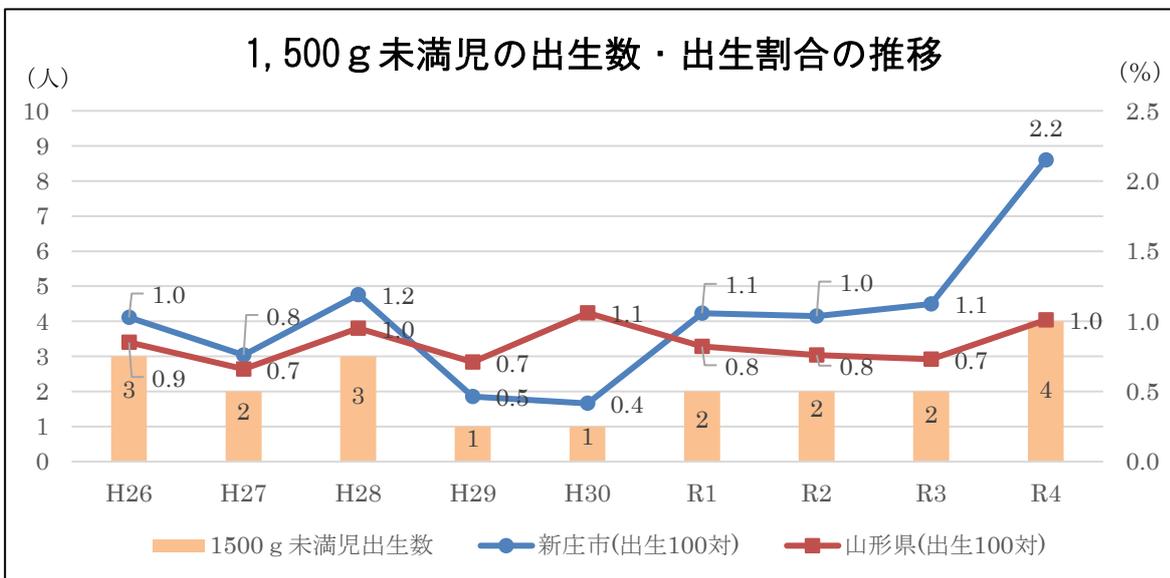
②出生体重

低出生体重児（2,500g未満）の出生割合は、平成27年、令和4年に高い水準にありますが、全国、県と同様に横ばいを続けています。

また、1,500g未満の出生児の割合は令和元年以降、県よりも高く推移しています。



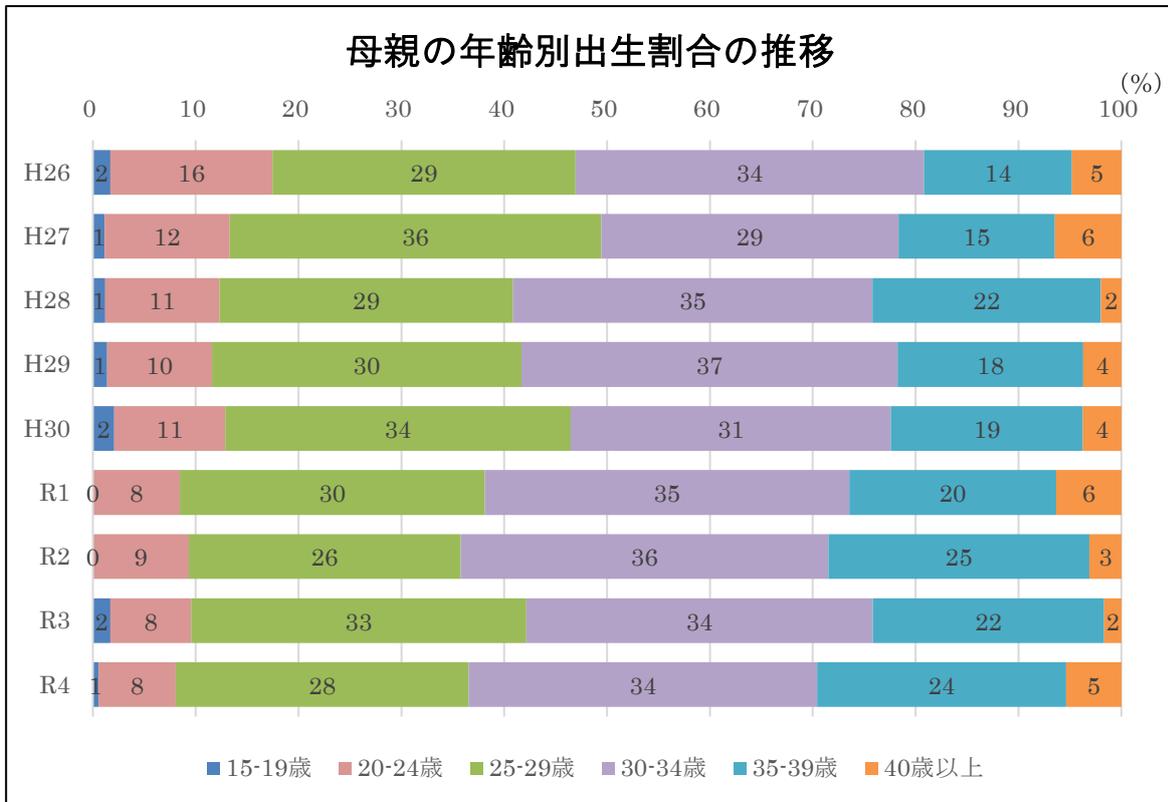
資料：人口動態統計



資料：人口動態統計

③母親の年齢別出生状況

母親の年齢別出生数の割合の推移をみると、20歳代が減少している一方で、一方30歳以上の年齢層は増加傾向にあります。



資料：人口動態統計

(3) 死亡

①乳児死亡・新生児死亡

平成26年以降は数名の死亡がみられ、横ばいで推移しています。山形県の乳児死亡率、新生児死亡率は全国の死亡率より高い傾向にあります。

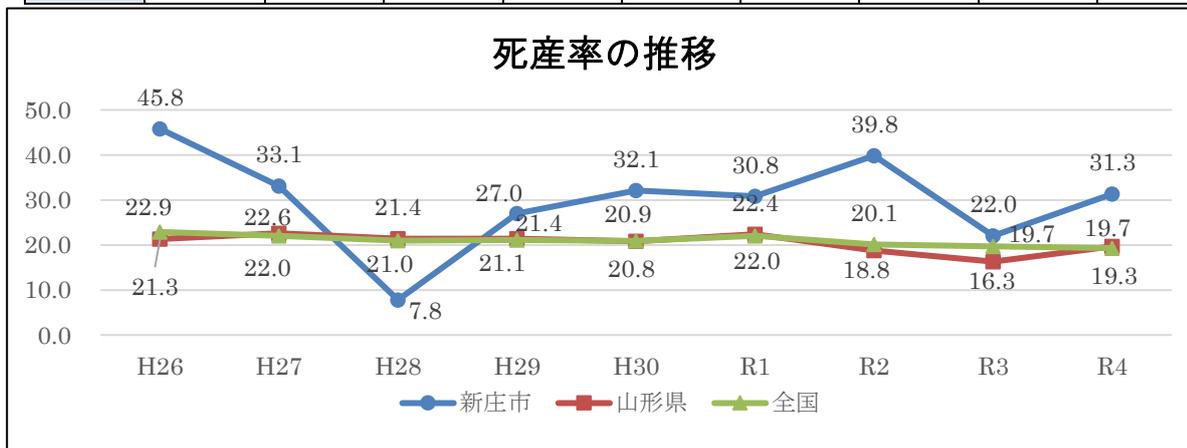
年	乳児死亡数(人)	乳児死亡率(出生千対)			新生児死亡数(人)	新生児死亡率(出生千対)		
		新庄市	山形県	全国		新庄市	山形県	全国
H26	1	3.4	2.4	2.1	1	3.4	1.1	0.9
H27	2	7.6	2.3	1.9	1	3.8	0.9	0.9
H28	1	4	3.2	2	1	4	2.3	0.9
H29	0	0	1.7	1.9	0	0	1.2	0.9
H30	0	0	2.4	1.9	0	0	1.3	0.9
R1	1	5.3	2.3	1.9	0	0	0.9	0.9
R2	1	5.2	2.3	1.8	1	5.2	1.4	0.8
R3	0	0	1	1.7	0	0	0.5	0.8
R4	1	5.4	2.8	1.8	1	5.4	1.6	0.8

資料：人口動態統計

②死産

死産数は平成27年度以降10人未満で推移しています。

年	死産数(人)			死産率(出生千対)			人工死産率(出生千対)		
	自然	人工	合計	新庄市	山形県	全国	新庄市	山形県	全国
H26	14	7	21	45.8	21.3	22.9	22.9	10.4	12.3
H27	9	5	14	33.1	22.6	22.0	14.7	10.9	11.4
H28	6	2	8	7.8	21.4	21.0	15.5	10.6	10.9
H29	6	6	12	27.0	21.4	21.1	0.0	9.3	11.0
H30	8	4	12	32.1	20.8	20.9	16.1	10.8	11.0
R1	6	3	9	30.8	22.4	22.0	15.4	10.8	11.8
R2	8	6	14	39.8	18.8	20.1	10.0	8.4	10.6
R3	4	2	6	22.0	16.3	19.7	11.0	7.7	9.9
R4	6	4	10	31.3	19.7	19.3	10.7	8.5	9.9



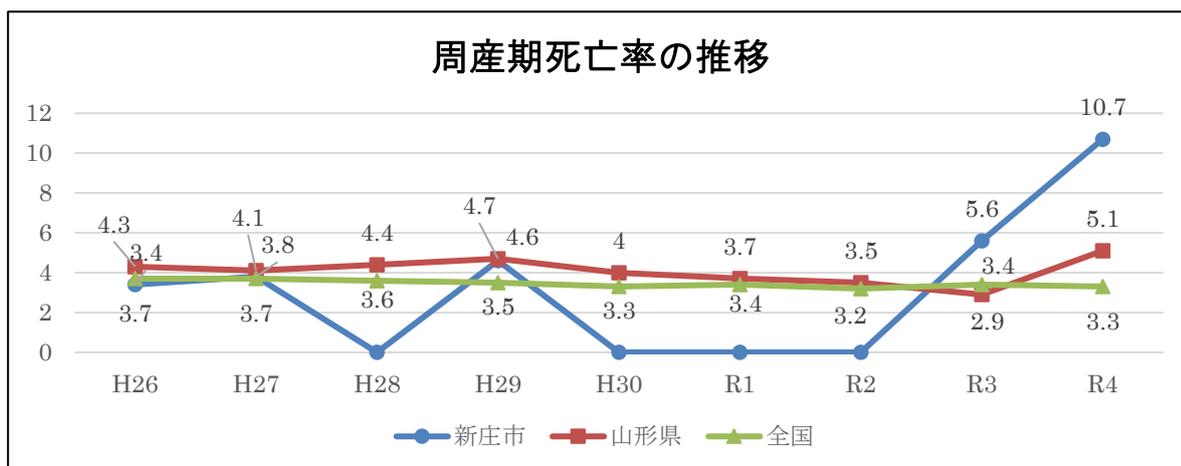
資料：人口動態統計

③周産期死亡

平成26年以降は数名の死亡がみられ、横ばいで推移しています。山形県の周産期死亡率は全国より高い傾向にあります。

年	周産期死亡数(人)			周産期死亡率(出生千対)		
		22週以降	早期新生児	新庄市	山形県	全国
H26	1	0	1	3.4	4.3	3.7
H27	1	1	0	3.8	4.1	3.7
H28	0	0	0	0	4.4	3.6
H29	1	1	0	4.6	4.7	3.5
H30	0	0	0	0	4.0	3.3
R1	0	0	0	0	3.7	3.4
R2	0	0	0	0	3.5	3.2
R3	1	1	0	5.6	2.9	3.4
R4	2	1	1	10.7	5.1	3.3

※周産期死亡：妊娠満22週以降の死産と早期新生児死亡（生後1週未満）を合わせたもの



④妊産婦死亡

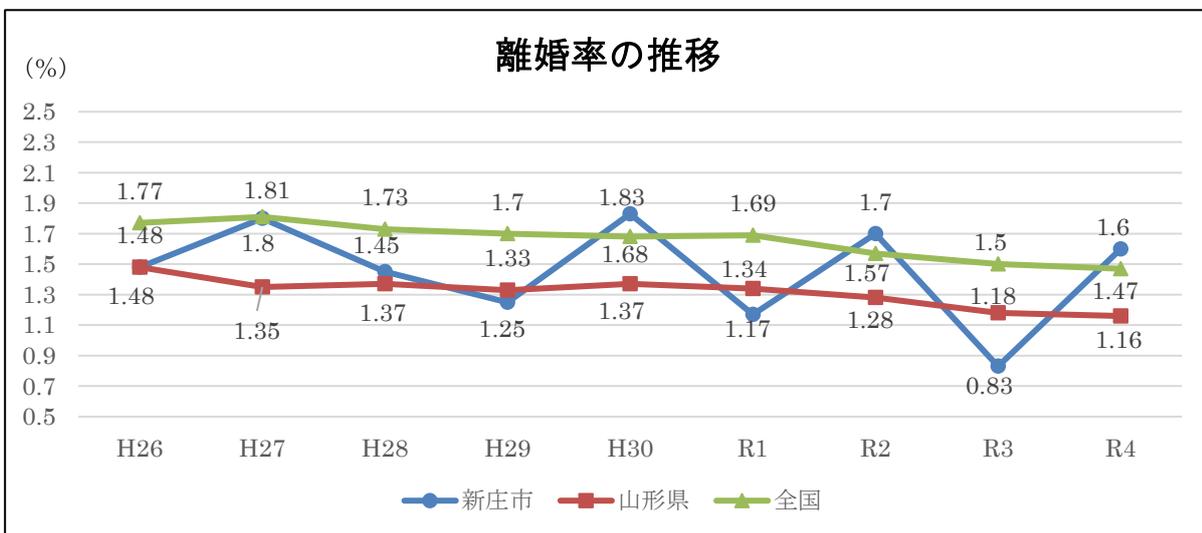
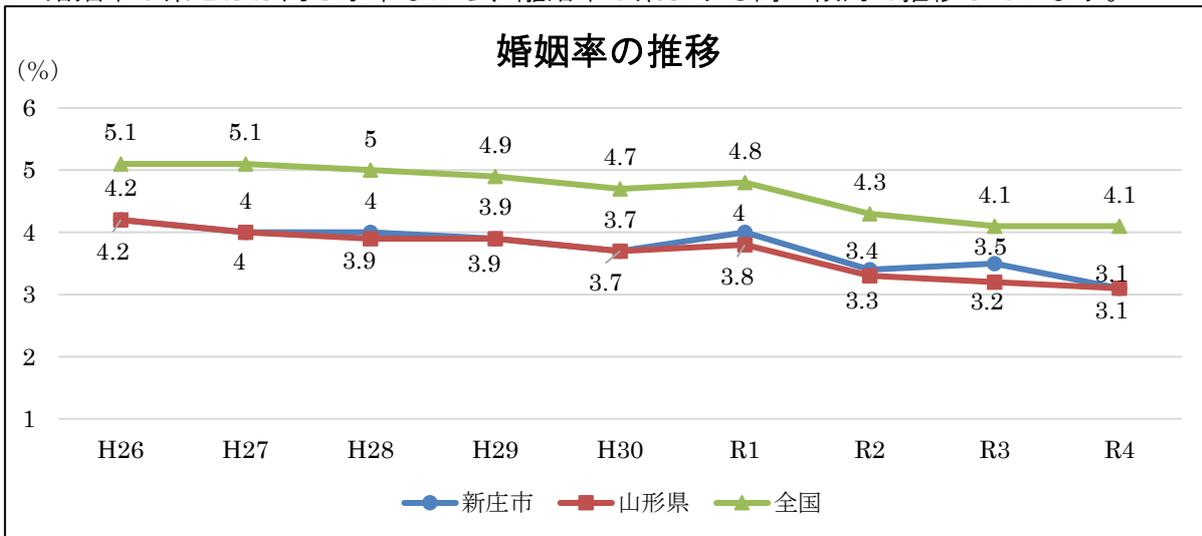
近年、県内において妊産婦死亡はありません。

年	妊産婦死亡数(人)	妊産婦死亡率(出産10万)		年	妊産婦死亡数(人)	妊産婦死亡率(出産10万)	
		山形県	全国			山形県	全国
H27	0	0	3.8	R1	0	0	3.3
H28	0	0	3.8	R2	0	0	2.7
H29	0	0	3.4	R3	0	0	2.5
H30	0	0	3.4	R4	0	0	4.2

※妊産婦死亡：妊娠中又は妊娠終了後満42日未満の女性の死亡で、妊娠もしくはその管理に関連した原因によるもの

(4) 婚姻と離婚

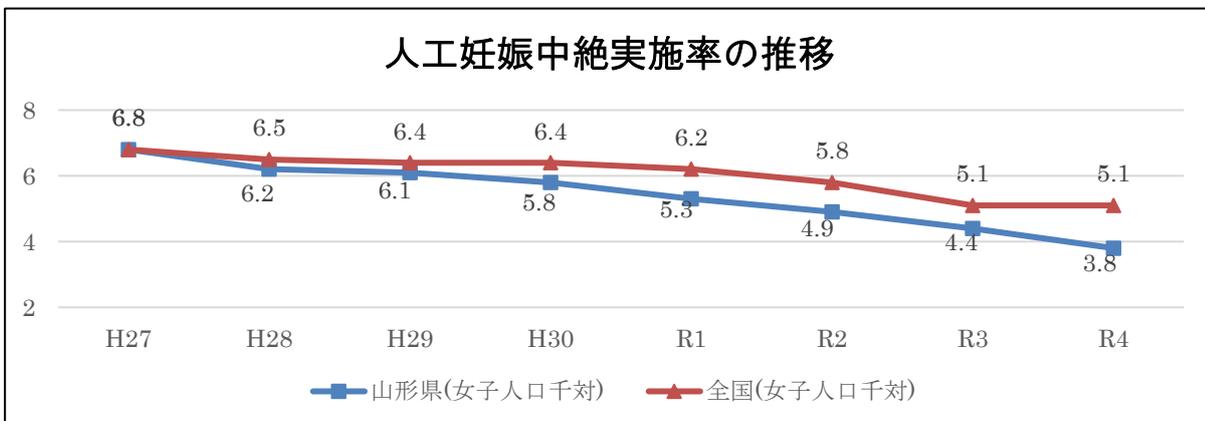
婚姻率は県とほぼ同じ水準ながら、離婚率は県よりも高い傾向で推移しています。



資料：人口動態統計

(5) 人工妊娠中絶

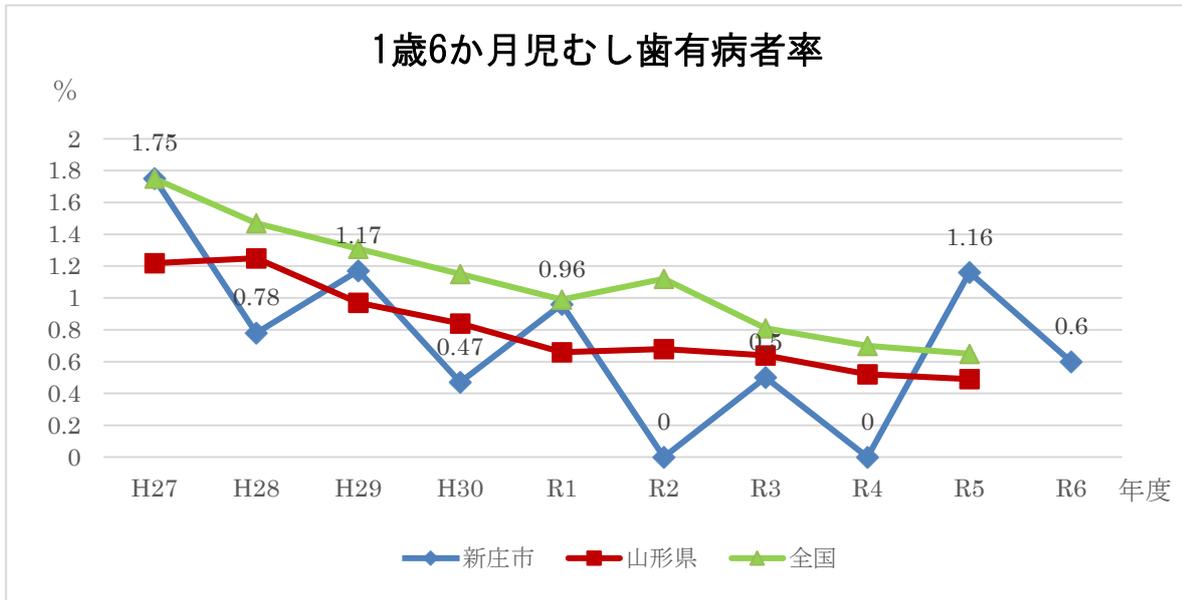
山形県の人工妊娠中絶率は減少傾向にあります。



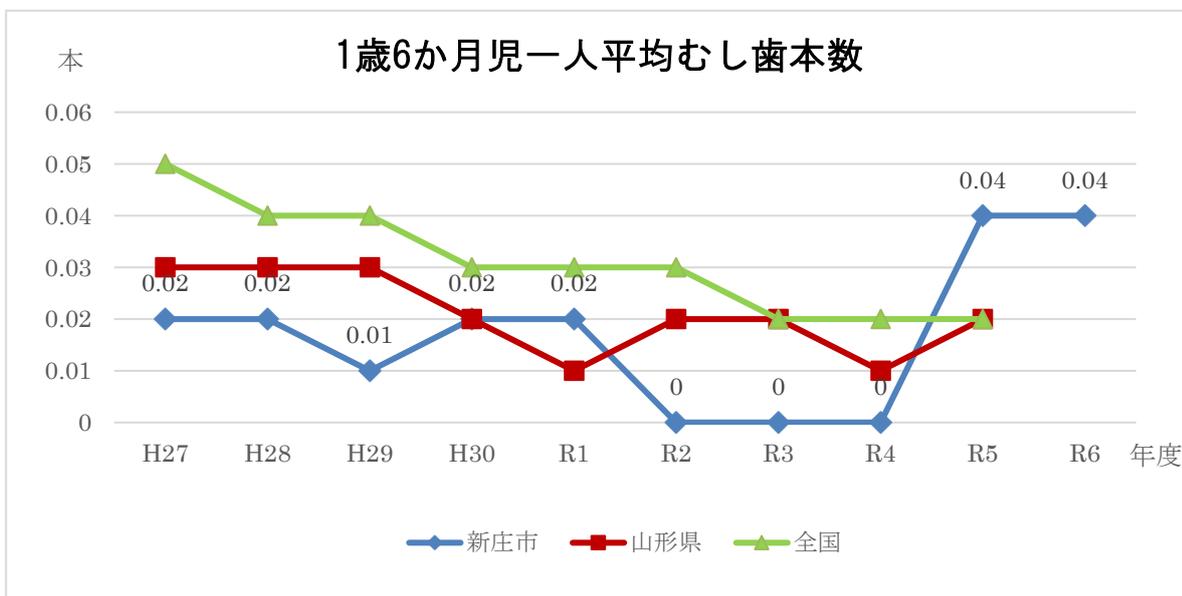
資料：衛生行政報告例

(6) 歯科保健

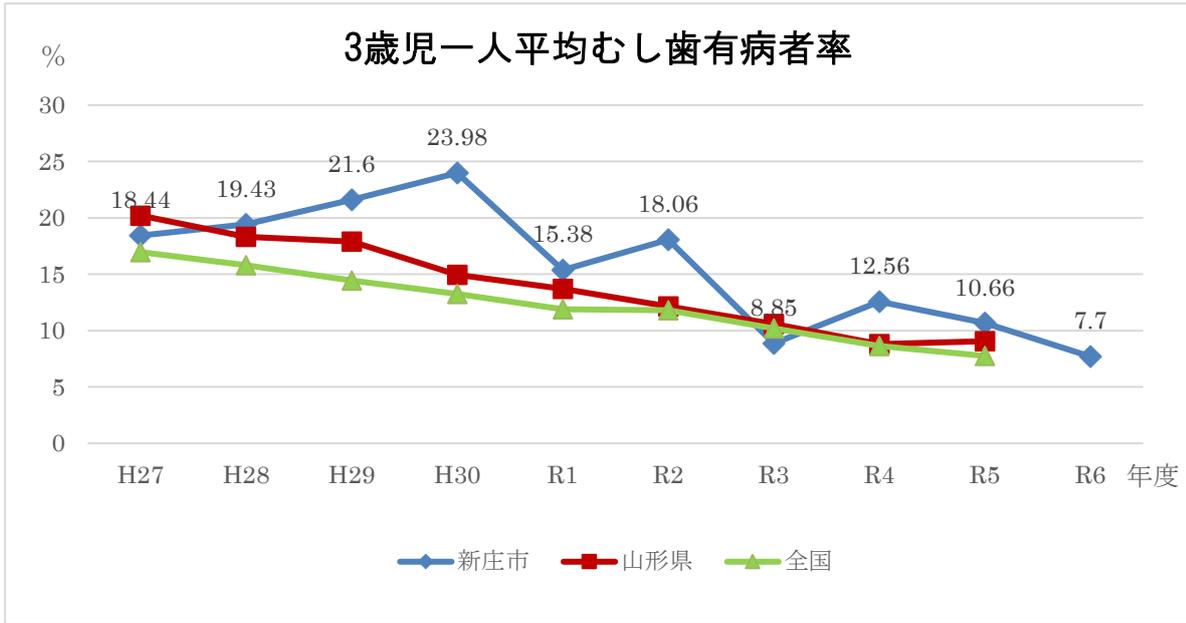
1歳6か月児のむし歯有病者率は増減に幅があるものの、全国・県の平均値並みに推移しています。1歳6か月児の一人平均むし歯本数は、全国・県よりも低い値で推移していましたが、令和5年度より全国・県を上回る高い数値で推移しています。3歳児については、むし歯有病者率、1人平均むし歯本数ともに減少傾向にあり、全国・県の平均並みに推移しています。



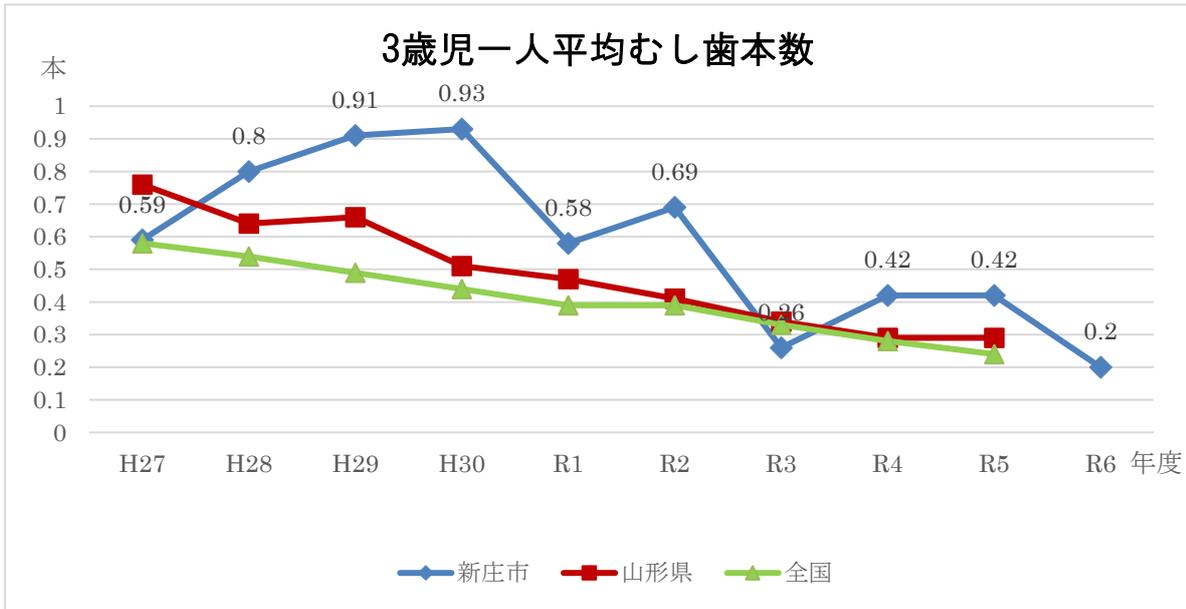
資料：山形県母子保健事業のまとめ、地域保健・健康増進事業報告



資料：山形県母子保健事業のまとめ、地域保健・健康増進事業報告



資料：山形県母子保健事業のまとめ、地域保健・健康増進事業報告



資料：山形県母子保健事業のまとめ、地域保健・健康増進事業報告

2. 母子保健事業の実施状況

平成30年4月より「子育て世代包括支援センター」の機能を活用し、妊娠期からの切れ目ない相談支援を行い、産前産後の支援を強化し、妊産婦や乳幼児等の健康保持増進のために保健指導、健康診査を実施してきました。

また、令和7年4月からは、子ども家庭総合支援拠点（児童福祉）と子育て世代包括支援センター（母子保健）が統合され、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもを対象とする包括的な支援を行う「こども家庭センター」として、事業を実施しています。

(1) 子育て世代包括支援センター（令和6年度まで）

妊婦相談、乳児訪問、乳幼児健診等で対象者が抱える課題の把握を行い、支援プランを作成し、関係機関と連携して支援を行っています。また、電子母子手帳の導入により健診や予防接種等を周知しています。

支援プラン作成数	147件（内訳：妊産婦98件、乳幼児49件）
関係機関との連携	31件（内訳：保育所等訪問11件、ケース検討会21件）
電子母子手帳 「すくすくShinjo」	ユーザー数609人（R7.3.31現在）

（R6）

(2) 母子健康手帳交付

妊娠届出をした妊婦に、保健師が面談を行い母子健康手帳を交付しています。妊娠・出産・育児に関する相談及び保健指導を行うとともに、ハイリスク妊婦の早期把握と支援につなげています。

週数別妊娠届出状況

（単位：人、％）

	総数	満11週以内	満12～19週	満20～27週	満28週以上	分娩後	母子手帳交付数（冊）
新庄市（R6）	145 100.0%	130 89.7%	14 9.7%	1 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	146
山形県（R5）	-	90.7%	8.5%	0.4%	0.2%	0.2%	

年齢別妊娠届出状況

（単位：人）

		総数	10代	20代	30代	40代
R6	届出数	145	1	66	75	3
	未婚者（再掲）	12（8.3%）	0	5	7	0

妊娠届出時の妊婦の喫煙状況

(単位:人)

	喫煙している	妊娠後やめた	喫煙なし	不詳
新庄市 (R6)	3 (2.1%)	20 (13.8%)	122 (84.1%)	0 (0.0%)
山形県 (R5)	45 (0.9%)	461 (9.6%)	4267 (89.2%)	14 (0.3%)

妊娠届出時の妊婦の飲酒状況

(単位:人)

	飲酒している	妊娠後やめた	飲酒なし	不詳
新庄市 (R6)	0 (0.0%)	56 (38.6%)	89 (61.4%)	0 (0.0%)
山形県 (R5)	22 (0.4%)	1866 (39.0%)	2886 (60.3%)	13 (0.3%)

(3) 妊婦一般健康診査

適切な時期に妊婦健康診査を受診し健康管理ができるよう、妊娠届出時に妊婦健康診査受診票を交付し、公費助成を行っています。

(単位:人)

	1～14回目	子宮頸癌検診	HTLV-1抗体検査	肝炎抗原検査	超音波検査
R6	1,770	142	143	146	580

妊婦一般健康診査結果

(単位:人)

	有所見者数 (延) 有所見率	有所見者の内訳 (延)				
		切迫流産	切迫早産	耐糖能異常	貧血	その他
R6	570 (25.9%)	15	203	43	84	225

(4) 産前産後サポート事業

妊婦やその夫を対象に、産後間もない時期の子育てのイメージができるよう、実技や交流を内容とした両親学級「プレママ広場」を開催しています。また、産後1か月までの産婦に対し、産後サポート電話相談を行っています。

プレママ広場 (両親学級)	91人 (※内妊婦 48人) /12回開催
産後サポート電話相談	産婦 139件

(R6)

(5) 産後ケア事業 (令和4年度～)

産婦が安心して子どもを育てられるための支援の充実を図るため、産後1年未満の産婦・乳児に対し、助産師による保健指導、育児相談等を行う産後ケア事業を行っています。

産後ケア事業 《訪問・通所型》	38件 (延)
--------------------	---------

(R6)

(6) 不妊治療費助成事業

令和4年4月1日より生殖補助医療費が保険適用となり、より高額な先進医療を希望する夫婦の増加が見込まれるため、経済的負担の軽減を目的に不妊治療費の一部を助成しています。

不妊治療費助成事業	23件（延）
-----------	--------

（R6）

(7) 訪問指導

全出生児を対象に、産後うつや育児不安へ対応するため、概ね生後2か月までの間に乳児全戸訪問を行っています。また、健診の未受診児や健診の結果から必要と認められる乳幼児、養育支援の必要な家庭を訪問しています。

R6	妊産婦	乳幼児	その他
延人数 （人）	152	161	1

乳児家庭全戸訪問事業（再掲）

（単位：件）

R6	対象者数	訪問件数	訪問実施率
実人数（人）	143	143	100%

※143件すべてに訪問時、エジンバラ産後うつ病質問票（EPDS）を実施。

要支援ケース（EPDS9点以上）は13件/143件

(8) 乳幼児健康診査

乳幼児期の心身の健やかな成長発達を支援するため、4か月児、1歳6か月児、3歳児を対象に健康診査を行っています。

（単位：人）

R6	対象児数	受診児数	受診率（%）	未受診児数	未把握数
4か月児健診	148	148	100.0	0	0
1歳6か月児健診	174	171	98.3	3	0
3歳児健診	184	181	98.4	3	0

1歳6か月児健診精密検査

(単位:人)

R6	要精密検査児数	精密検査受診児数	精密検査結果		
			問題なし	要観察・精検	要治療
身体	9	8	1	4	3
精神	0	0	0	0	0
視覚	0	0	0	0	0
聴覚	3	3	0	2	1

3歳児健診精密検査

(単位:人)

R6	要精密検査児数	精密検査受診児数	精密検査結果		
			問題なし	要観察・精検	要治療
身体	8	9 (2)	3 (1)	6 (1)	0 (0)
精神	3	3 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (0)
視覚	42	38 (2)	3 (0)	34 (2)	1 (0)
聴覚	2	2 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)

※前年度に健診を受け、今年度受診した数を()に再掲

(9) 歯科健康診査

1歳6か月児健診、2歳児歯科健診、3歳児健診において、歯科健診と保健指導を行っています。1歳6か月児、2歳児及び3歳児にはフッ化物の塗布を行い、かかりつけ歯科医での継続塗布をすすめています。

歯科健診

R6	受診児数(人)	むし歯有病者数(人)	むし歯有病者率(%)	むし歯総数(本)	1人当むし歯数(本)	山形県(R5)		全国(R5)	
						有病率(%)	1人当本数	有病率(%)	1人当本数
1歳6か月	171	3	1.75	11	0.06	0.49	0.02	0.65	0.02
2歳児	162	3	1.85	11	0.07	/	/	/	/
3歳児	181	14	7.70	45	0.20	9.07	0.29	7.75	0.24

(10) 子育て教室・相談

母親の孤立を防ぎ、育児不安の軽減を目的に、教室や各種相談を開催しています。

R6	内容	開催回数	参加数(子どもの数)
はじめての離乳食教室	5~6か月児を対象に、離乳食の進め方の説明、試食、計測を実施。	5回	38人
乳幼児相談	保健師や栄養士による発育発達・栄養相談。遊びのひろばも同時開催。	22回	279人
すこやかこども相談	最上学園「陽だまり」保育士による個別相談	6回	7人

(11) 食育活動（令和6年度）

対象	小学生	
こども料理教室	1回	23人

(12) 予防接種（令和6年度）

定期予防接種

（単位：人、％）

区 分		対象者数	接種者数	接種率		
ヒブ	1回目	138	0	0.0		
	2回目	138	13	9.4		
	3回目	138	27	19.6		
	追加	138	119	86.2		
小児肺炎球菌	1回目	138	135	97.8		
	2回目	138	139	100.7		
	3回目	138	142	102.9		
	追加	138	151	109.4		
B型肝炎	1回目	138	135	97.8		
	2回目	138	138	100.0		
	3回目	138	152	110.1		
ロタ	1回目	138	133	96.4		
	2回目	138	137	99.3		
	3回目（5価のみ）	48	52	108.3		
BCG		145	140	96.6		
区 分		対象者数	接種者数	接種率		
四種混合	1期	初回	1回目	138	1	0.7
			2回目	138	14	10.1
			3回目	138	28	20.3
	追加		167	170	101.8	
	2期	ジフテリア・破傷風	262	204	77.9	
五種混合	1期	初回	1回目	138	136	98.6
			2回目	138	125	90.6
			3回目	138	116	84.1
	追加		167	33	19.8	
麻しん・風しん	1期		160	156	97.5	
	2期		219	197	90.0	
水痘	1回目		160	157	98.1	
	2回目		160	154	96.3	

区 分				対象者数	接種者数	接種率	
日本脳炎	1 期	初回	1 回目	177	170	96.0	
			2 回目	177	166	93.8	
		追加	180	172	95.6		
	2 期			278	227	81.7	
子宮頸がん	標準接種年齢 (中学1年生)		1 回目	136	41	30.1	
			2 回目	136	18	13.2	
			3 回目	136	0	0	
	定期接種	1 回目接種 15 歳未満	1 回目	170	27	15.9	
			2 回目	170	27	15.9	
		1 回目接種 15 歳以上	1 回目	147	86	58.5	
			2 回目	147	91	61.9	
			3 回目	147	49	33.3	
		キャッチアップ			1 回目	976	0
	2 回目				976	0	0
	1 回目				1072	248	23.1
2 回目	1072				198	18.5	
3 回目	1072				177	16.5	

任意予防接種

成人の風しん

先天性風しん症候群を予防するため、妊娠を希望する女性等に対し、風しん抗体検査及び風しんワクチン接種の費用を助成しています。

(単位：人)

申請者数	実施者数	
	抗体検査	予防接種
19	11	7

小児インフルエンザ

インフルエンザの重症化を防ぐため、生後 6 か月から中学 3 年生までの小児を対象にインフルエンザ予防接種の費用を助成しています。

(単位：人、%)

対象者数	1 回目		2 回目	
	接種者数	接種率	接種者数	接種率
3,458	970	28.1	580	16.8

(13) 未熟児養育医療給付事業

(単位：件)

	給付件数
令和6年度	6

子育て推進課より

(14) 児童虐待にかかる対応件数

本市における児童虐待に関する通告も増加傾向を示しています。

		R元	R2	R3	R4	R5	R6
新 庄 市	通告件数	7	2	13	17	15	29
	認定件数	7	0	8	14	8	25
山 形 県	通告件数 (児相+市町村)	1,534	1,436	1,176	1,104	1,287	-
	認定件数	847	733	617	655	869	-

子育て推進課より

3. 学校保健統計

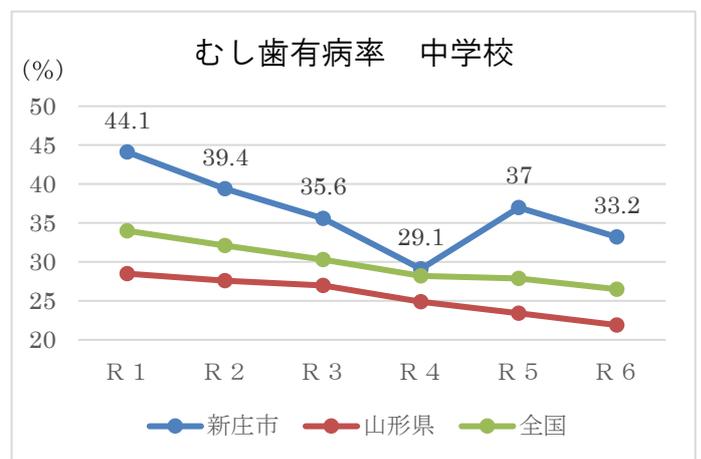
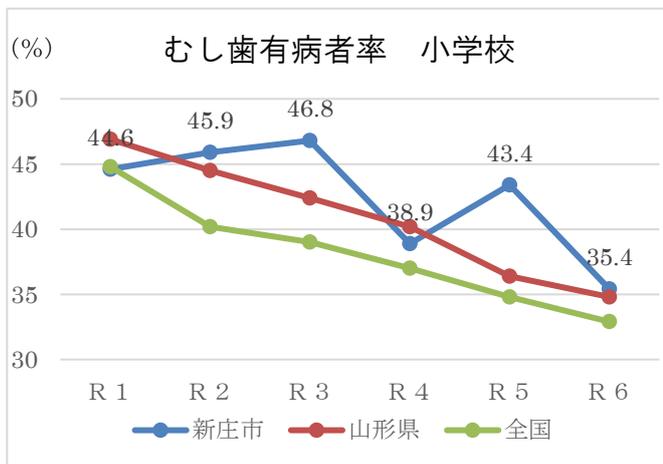
(1) むし歯

むし歯有病者率

(単位：%)

	小学校			中学校		
	新庄市	山形県	全国	新庄市	山形県	全国
令和元年度	44.6	46.9	44.8	44.1	28.5	34.0
令和2年度	45.9	44.5	40.2	39.4	27.6	32.1
令和3年度	46.8	42.4	39.0	35.6	27.0	30.3
令和4年度	38.9	40.2	37.0	29.1	24.9	28.2
令和5年度	43.4	36.4	34.8	37.0	23.4	27.9
令和6年度	35.4	34.8	32.9	33.2	21.9	26.5

定期健康診断実施報告書（学校教育課）より

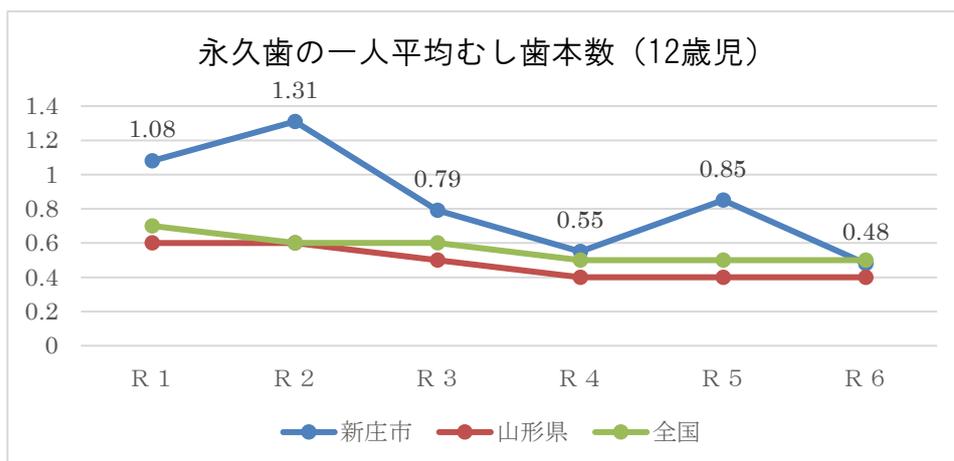


永久歯の一人平均むし歯本数（12歳児）

(単位：本)

	新庄市	山形県	全国
令和元年度	1.08	0.6	0.7
令和2年度	1.31	0.6	0.6
令和3年度	0.79	0.5	0.6
令和4年度	0.55	0.4	0.5
令和5年度	0.85	0.4	0.5
令和6年度	0.48	0.4	0.5

定期健康診断実施報告書（学校教育課）



（2）栄養状態

（単位：人）

	小学校			中学校		
	受験者数	栄養不足	肥満傾向	受験者数	栄養不足	肥満傾向
令和元年度	1,645	0	4	932	5	1
令和2年度	1,626	0	4	900	1	2
令和3年度	1,604	0	5	833	0	2
令和4年度	1,571	0	15	822	0	4
令和5年度	1,523	0	4	791	0	6
令和6年度	1,480	0	15	768	0	0

定期健康診断実施報告書（学校教育課）より

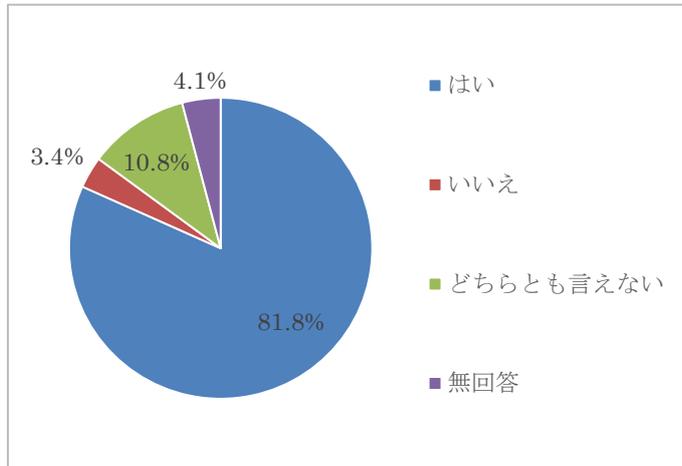
健やか親子 21（第2次）乳幼児健診データ

■産後、退院してからの1か月程度、助産師や保健師等からの指導・ケアは十分に受けることができましたか。

(単位：人)

はい	121
いいえ	5
どちらとも言えない	16
無回答	6

148

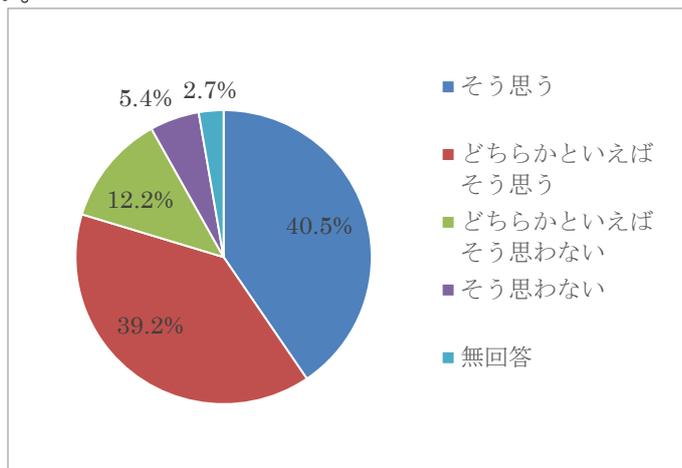


■この地域で今後も子育てをしていきたいですか。

(単位：人)

そう思う	60
どちらかといえばそう思う	58
どちらかといえばそう思わない	18
そう思わない	8
無回答	4

148

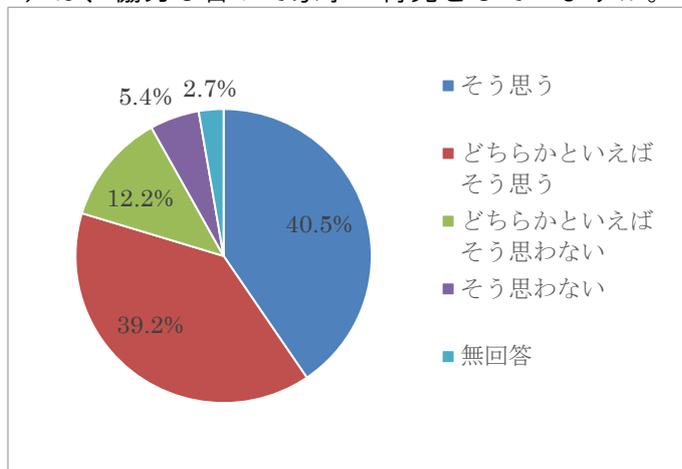


■お子さんのお母さんとお父さん（パートナー）は、協力し合って家事・育児をしていますか。

(単位：人)

そう思う	60
どちらかといえばそう思う	58
どちらかといえばそう思わない	18
そう思わない	8
無回答	4

148

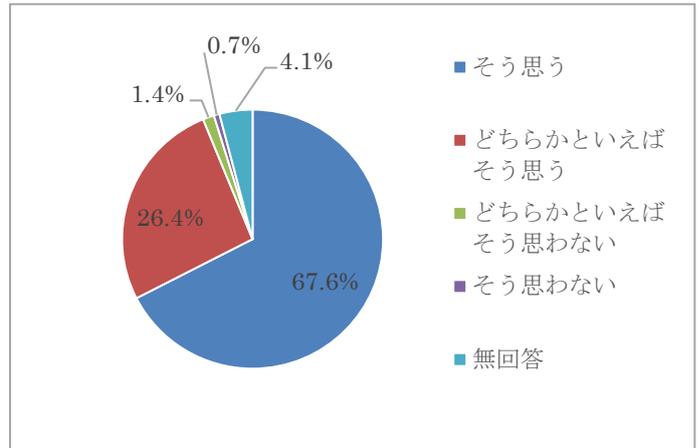


■あなたはゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか。

(単位：人)

そう思う	100
どちらかといえば そう思う	39
どちらかといえば そう思わない	2
そう思わない	1
無回答	6

148

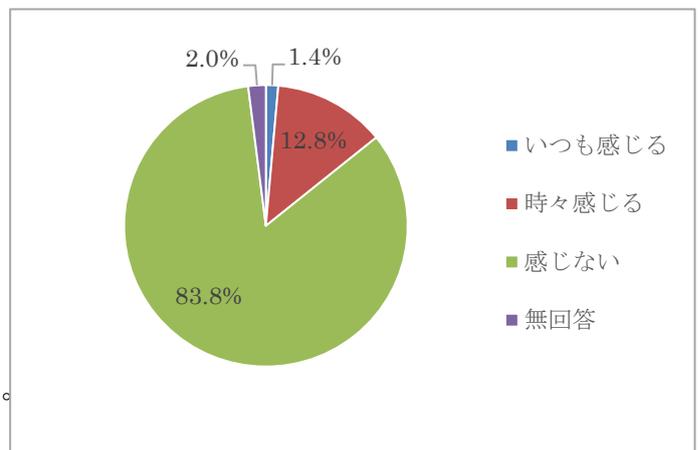


■あなたは、お子さんに対して育てにくさを感じていますか。

(単位：人)

いつも感じる	2
時々感じる	19
感じない	124
無回答	3

148



■上記質問に対して、相談先を知っていますか。

(単位：人)

育てにくさを感じる人 21

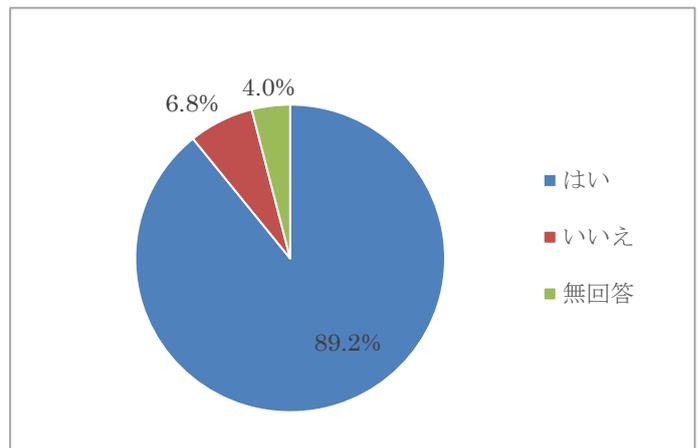
はい	14
いいえ	6
無回答	1

■生後半年から1歳頃までの多くの子どもは、「親の後追いをする」ことを知っていますか。

(単位：人)

はい	132
いいえ	10
無回答	6

148

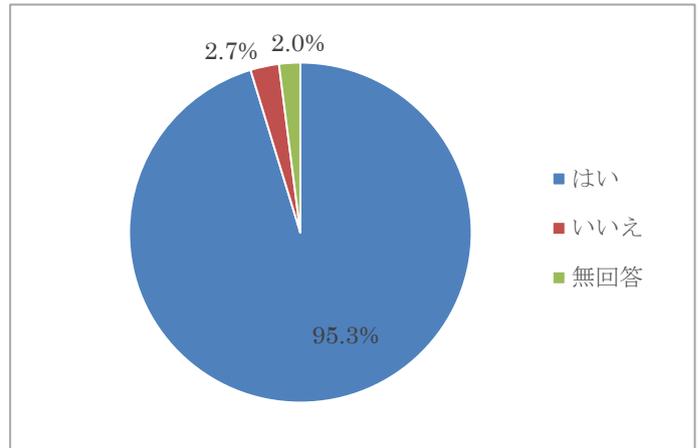


■赤ちゃんが、どうしても泣きやまない時などに、赤ちゃんの頭を前後にガクガクするほど激しく揺さぶることによって、脳障害が起きること（乳幼児揺さぶられ症候群）を知っていますか。

(単位：人)

はい	141
いいえ	4
無回答	3

148



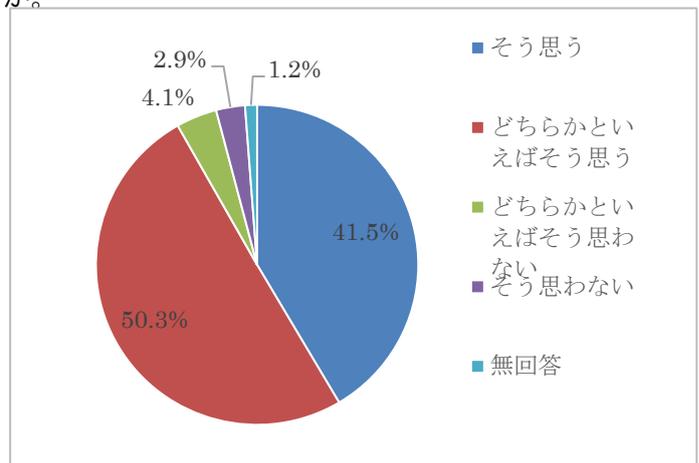
1歳6か月児健診時集計

■今後もこの地域で子育てをしていきたいですか。

(単位：人)

そう思う	71
どちらかといえばそう思う	86
どちらかといえばそう思わない	7
そう思わない	5
無回答	2

171

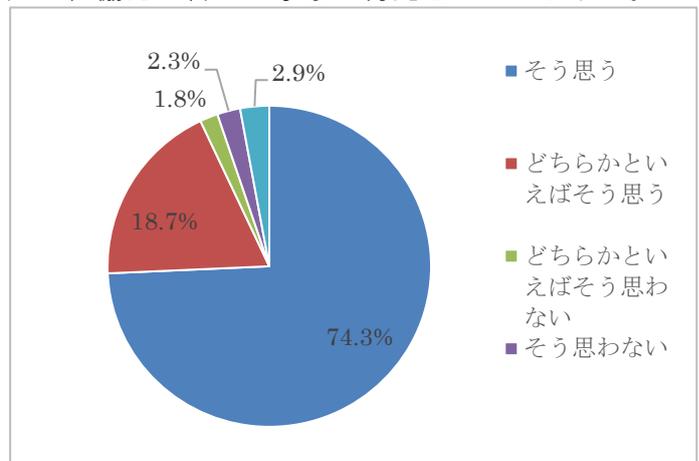


■お子さんのお母さんとお父さん（パートナー）は、協力し合って家事・育児をしていますか。

(単位：人)

そう思う	127
どちらかといえばそう思う	32
どちらかといえばそう思わない	3
そう思わない	4
無回答	5

171

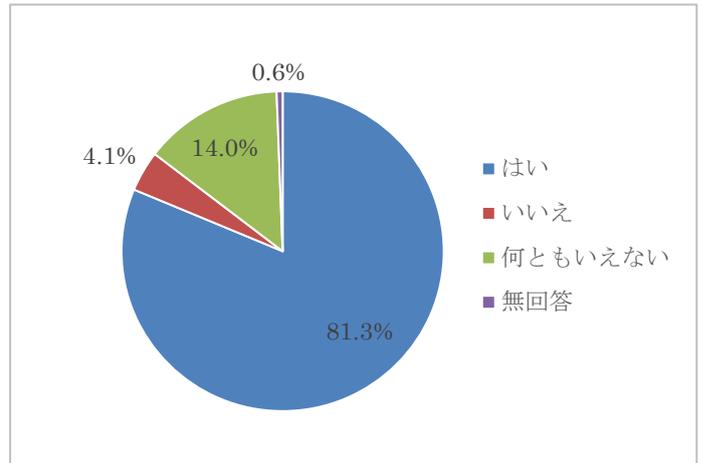


■お母さんはゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか。

(単位：人)

はい	139
いいえ	7
何ともいえない	24
無回答	1

171

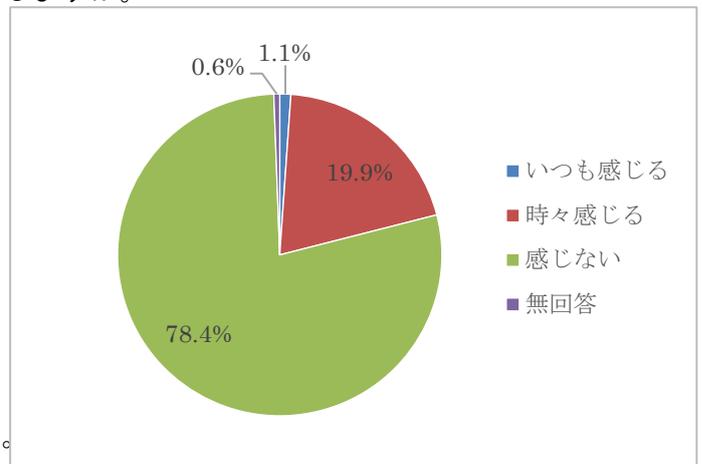


■あなたはお子さんに対して、育てにくさを感じますか。

(単位：人)

いつも感じる	2
時々感じる	34
感じない	134
無回答	1

171



■上記質問に対して、相談先を知っていますか。

(単位：人)

育てにくさを感じる人 36

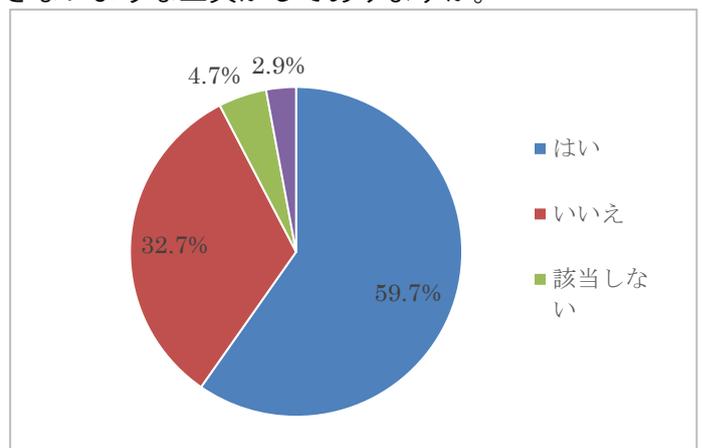
はい	30
いいえ	5
無回答	1

■浴室のドアに子どもが1人で開けることができないような工夫がしてありますか。

(単位：人)

はい	102
いいえ	56
該当しない	8
無回答	5

171

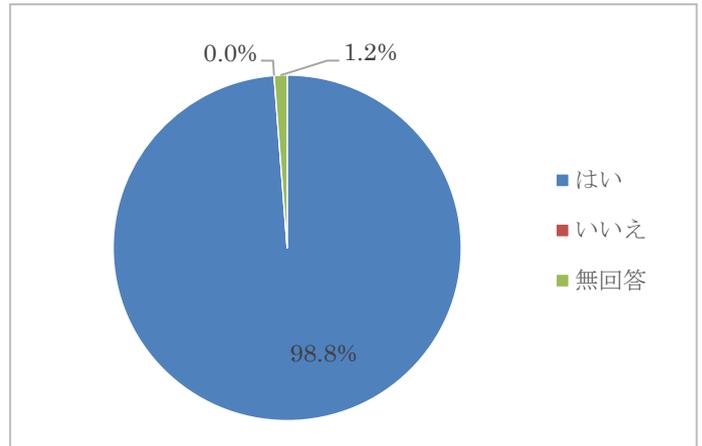


■1歳半から2歳頃までの多くの子どもは、「何か興味を持った時に、指差しで伝えようとする」ことを知っていますか。

(単位：人)

はい	169
いいえ	0
無回答	2

171

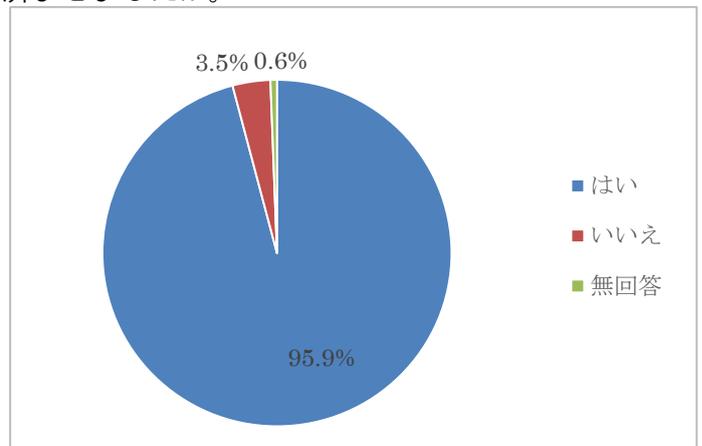


■四種混合の予防接種を（第1期初回3回）を済ませましたか。

(単位：人)

はい	164
いいえ	6
無回答	1

171

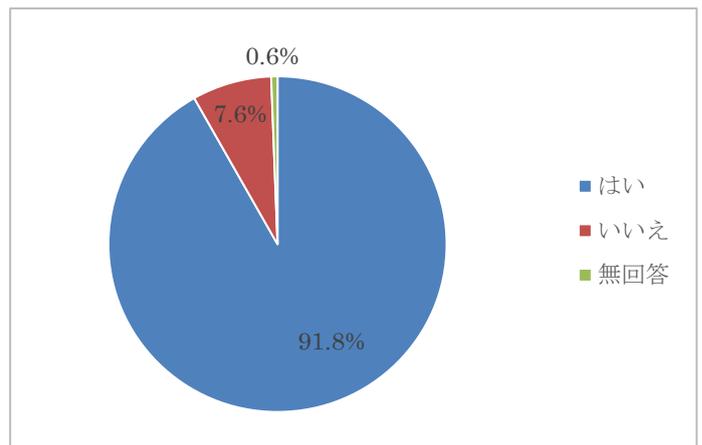


■麻しん・風しんの予防接種を済ませましたか。

(単位：人)

はい	157
いいえ	13
無回答	1

171



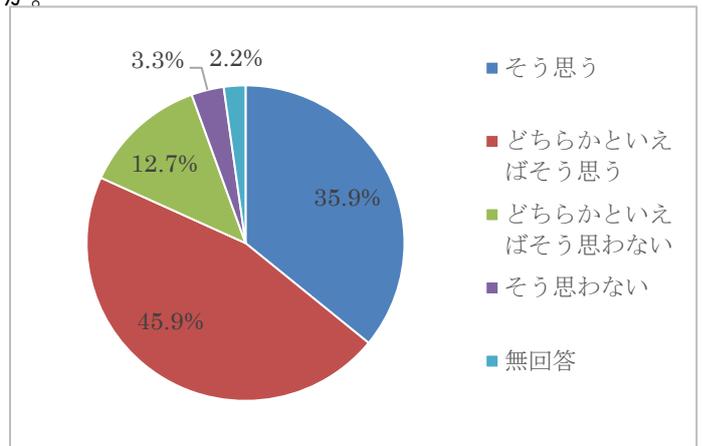
3 歳児健診時集計

■今後もこの地域で子育てをしていきたいですか。

(単位：人)

そう思う	65
どちらかといえばそう思う	83
どちらかといえばそう思わない	23
そう思わない	6
無回答	4

181

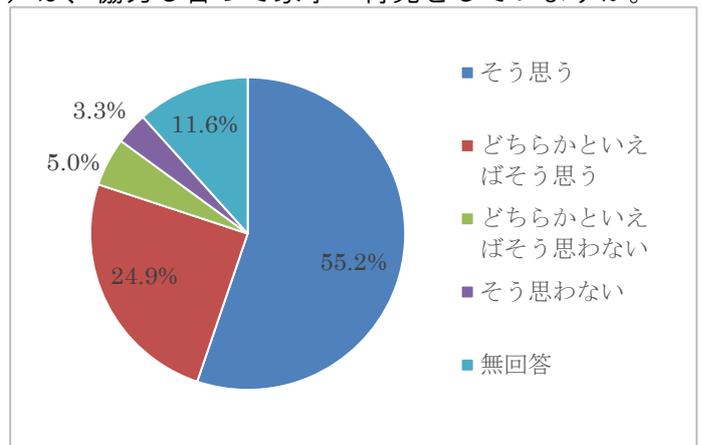


■お子さんのお母さんとお父さん（パートナー）は、協力し合って家事・育児をしていますか。

(単位：人)

そう思う	100
どちらかといえばそう思う	45
どちらかといえばそう思わない	9
そう思わない	6
無回答	21

181

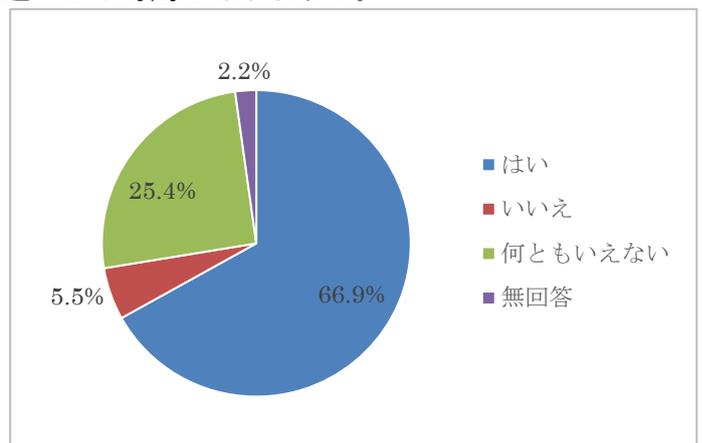


■お母さんはゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間はありますか。

(単位：人)

はい	121
いいえ	10
何ともいえない	46
無回答	4

181

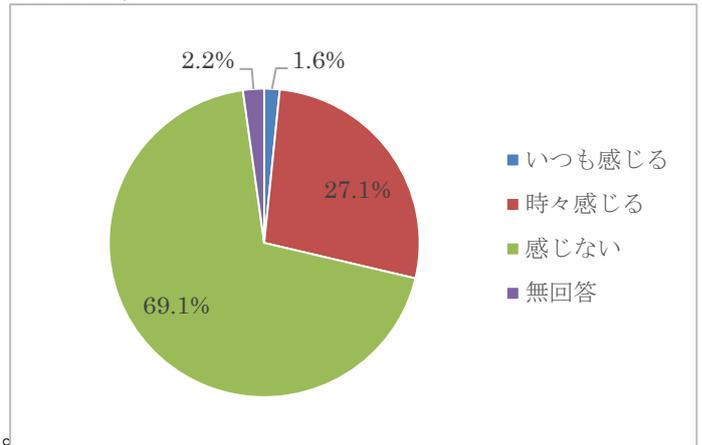


■あなたはお子さんに対して、育てにくさを感じますか。

(単位：人)

いつも感じる	3
時々感じる	49
感じない	125
無回答	4

181



■上記質問に対して、相談先を知っていますか。

育てにくさを感じる人 52

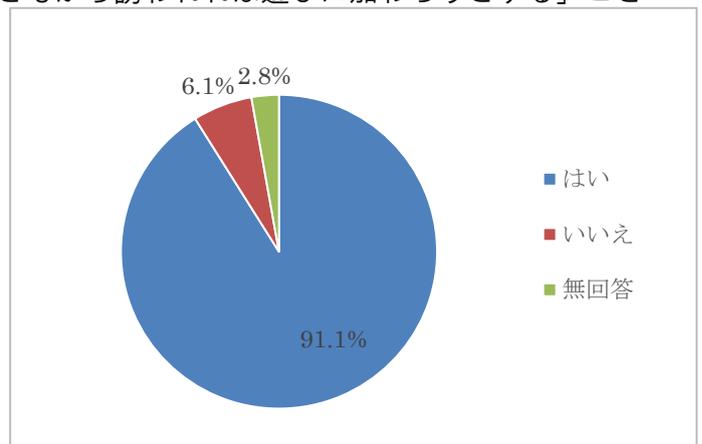
はい	36
いいえ	11
無回答	5

■3歳から4歳までの多くの子どもは「他の子どもから誘われれば遊びに加わろうとする」ことを知っていますか。

(単位：人)

はい	165
いいえ	11
無回答	5

181



いきいき健康づくりアンケート（中学生）

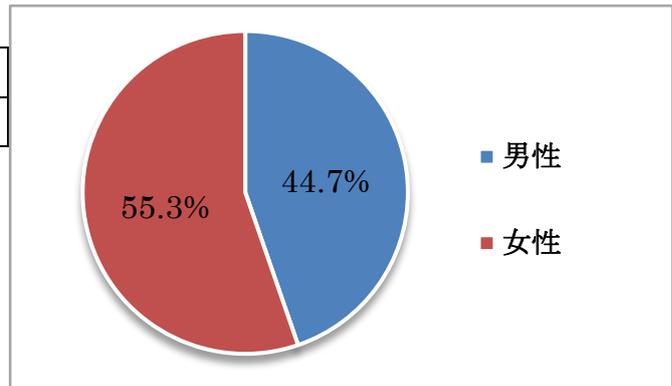
【調査期間】令和6年9月～11月
 【対象】新庄市内 中学2年生及び8年生
 【調査方法】学校に依頼

在籍数	271
回収	152
回収率	56.1%

【基本項目】

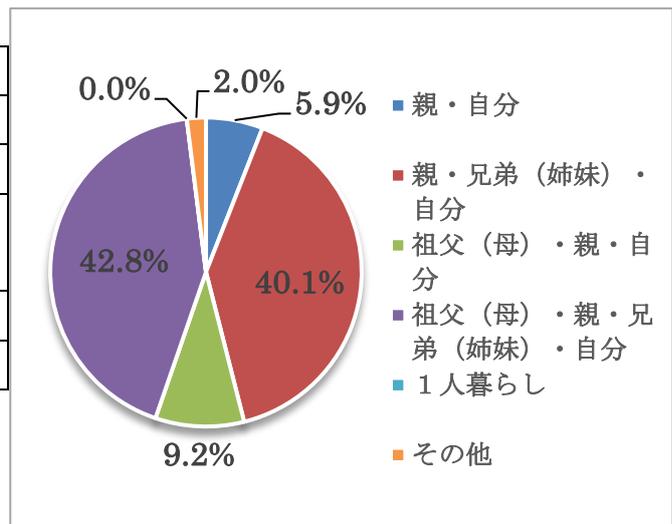
問1 あなたの性別はどちらですか

男性	68
女性	84
合計	152



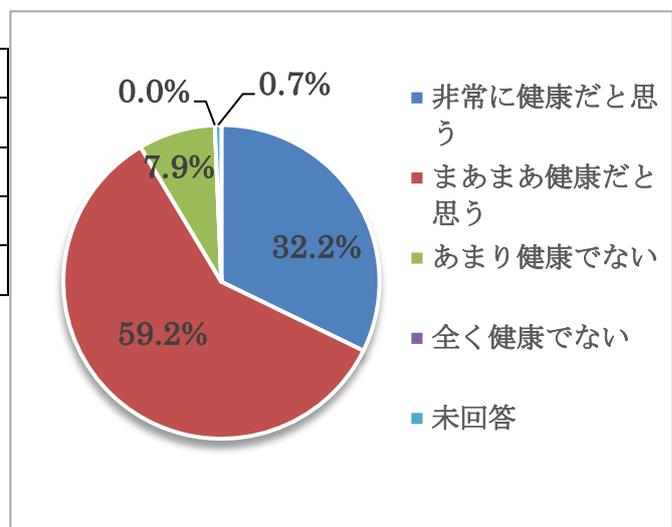
問2 家族構成

親・自分	9
親・兄弟（姉妹）・自分	61
祖父（母）・親・自分	14
祖父（母）・親・兄弟（姉妹）・自分	65
1人暮らし	0
その他	3
合計	152



問3 自分は健康だと思いますか

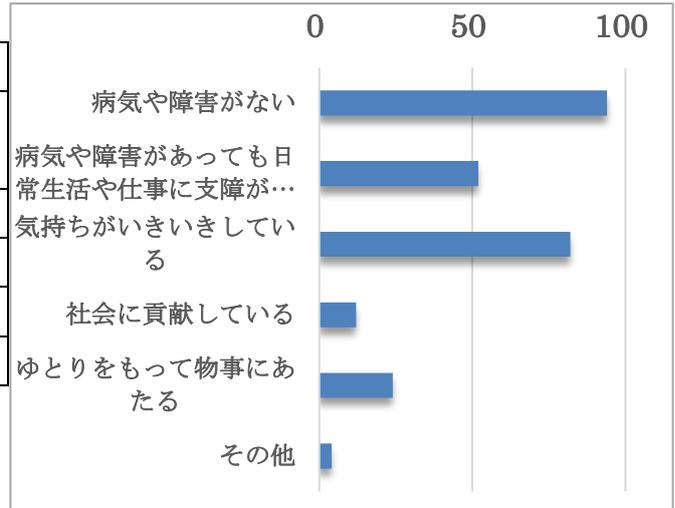
非常に健康だと思う	49
まあまあ健康だと思う	90
あまり健康でない	12
全く健康でない	0
未回答	1
合計	152



問4 「健康」とはどんなことだと思いますか

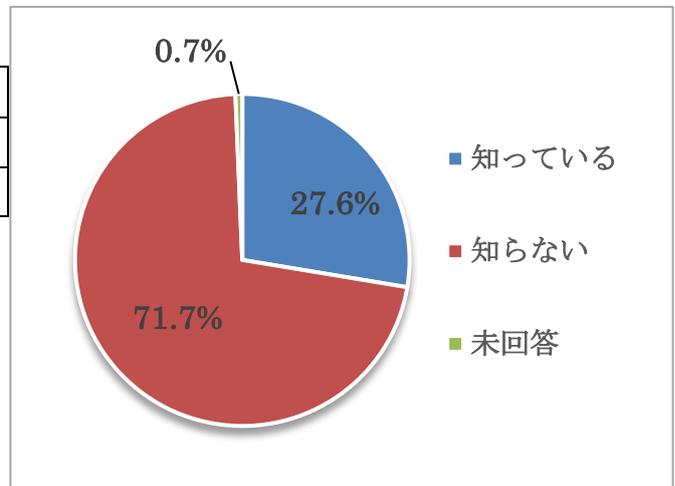
病気や障害がない	94
病気や障害があっても日常生活や仕事に支障がない	52
気持ちがいきいきしている	82
社会に貢献している	12
ゆとりをもって物事にあたる	24
その他	4

*複数回答可



問5 「健康寿命」の言葉の意味を知っていますか

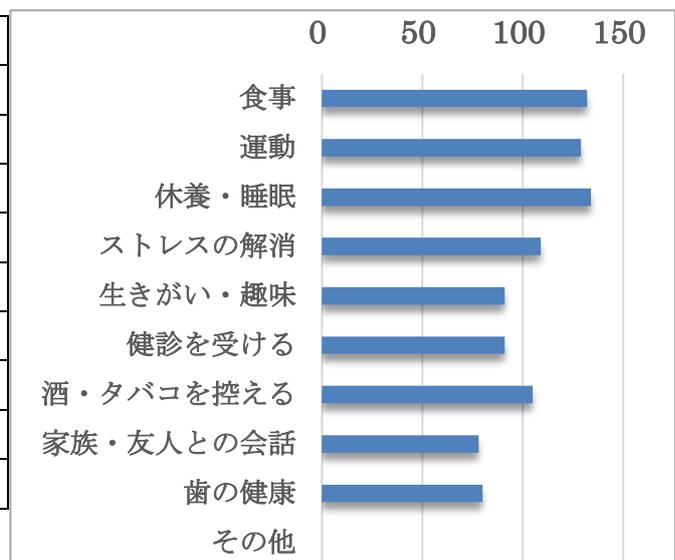
知っている	42
知らない	109
未回答	1
合計	152



問6 将来、健康を維持していくのに大切だと思うことは何ですか

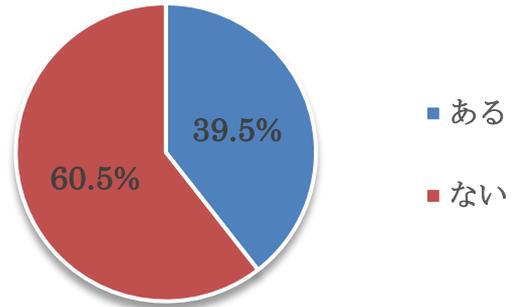
食事	132
運動	129
休養・睡眠	134
ストレスの解消	109
生きがい・趣味	91
健診を受ける	91
酒・タバコを控える	105
家族・友人との会話	78
歯の健康	80
その他	0

*複数回答可



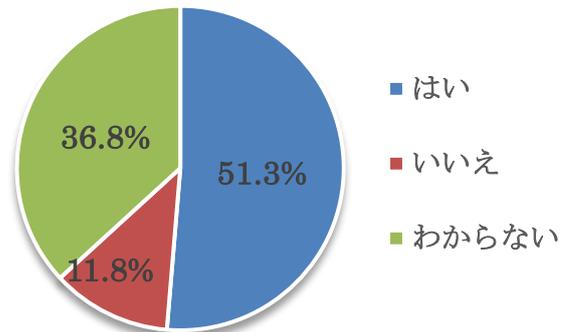
問7 最近、ダイエットを試みたことがありますか

ある	60
ない	92
合計	152



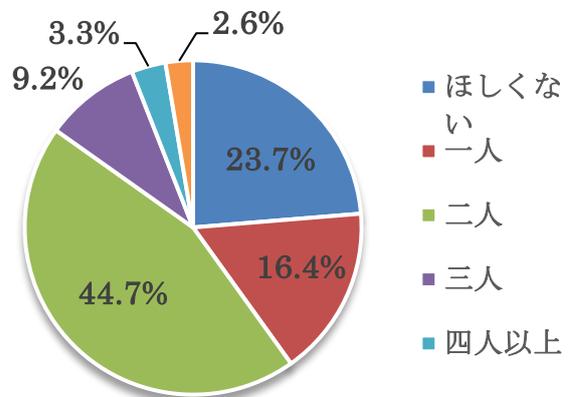
問8 あなたは将来、結婚したいですか

はい	78
いいえ	18
わからない	56
合計	152



問9 あなたは将来、何人子どもがほしいですか

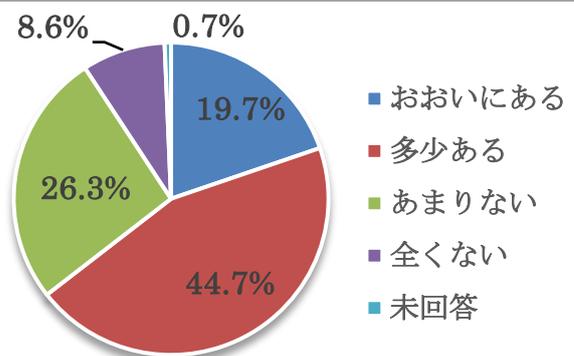
ほしくない	36
一人	25
二人	68
三人	14
四人以上	5
未回答	4
合計	152



【メンタルについて】

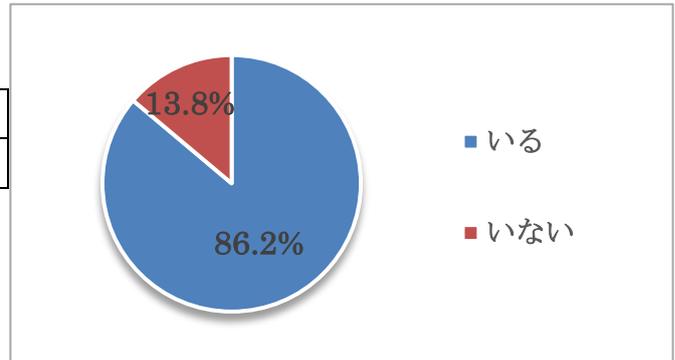
問1 最近1ヶ月間で悩みやストレスなどがありましたか

おおいにある	30
多少ある	68
あまりない	40
全くない	13
未回答	1
合計	152



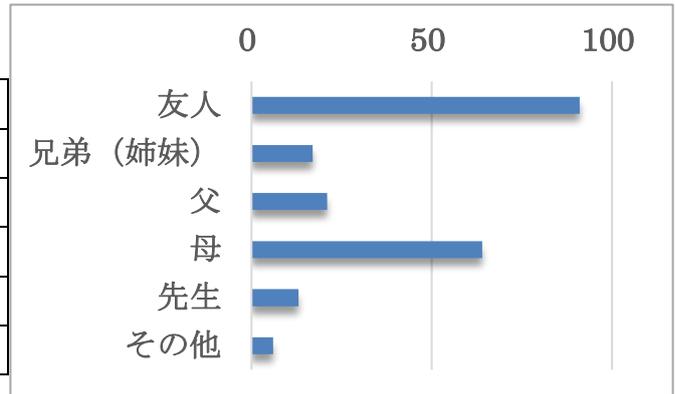
問2 悩みや困ったことがある時、相談相手はいますか

いる	131
いない	21
合計	152



問3 問2で「1いる」と答えた方、相談相手はどなたですか

友人	91
兄弟（姉妹）	17
父	21
母	64
先生	13
その他	6

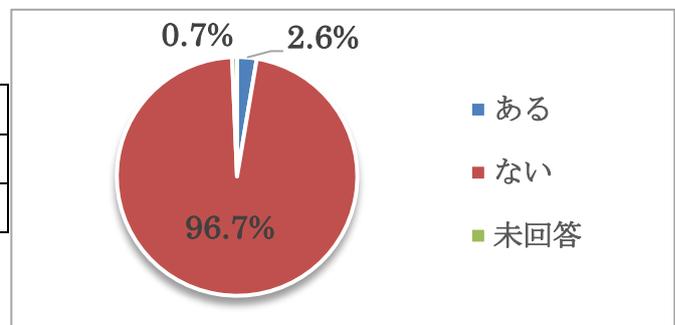


*複数回答可

【歯について】

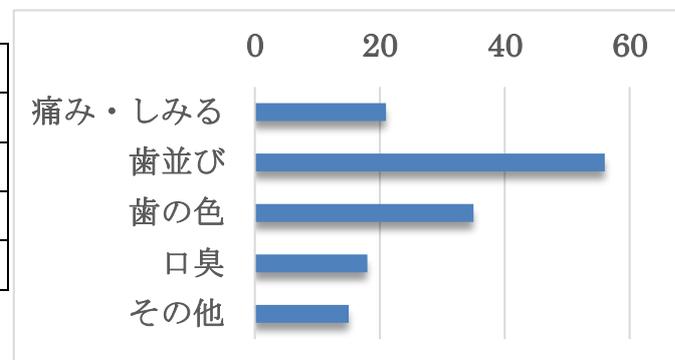
問1 ここ1年間に歯が原因で学校を休んだり、遅刻・早退したことがありますか

ある	4
ない	147
未回答	1
合計	152



問2 現在、歯のことで困ることはありますか

痛み・しみる	21
歯並び	56
歯の色	35
口臭	18
その他	15

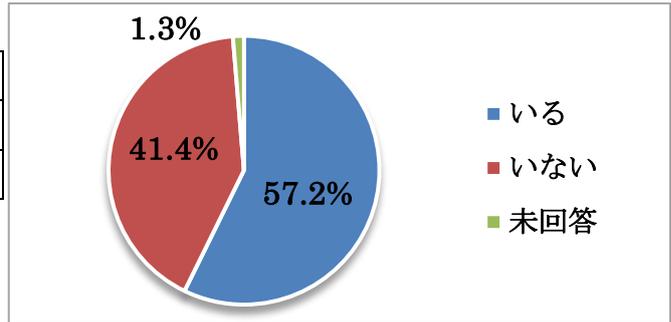


*複数回答可

【喫煙・飲酒について】

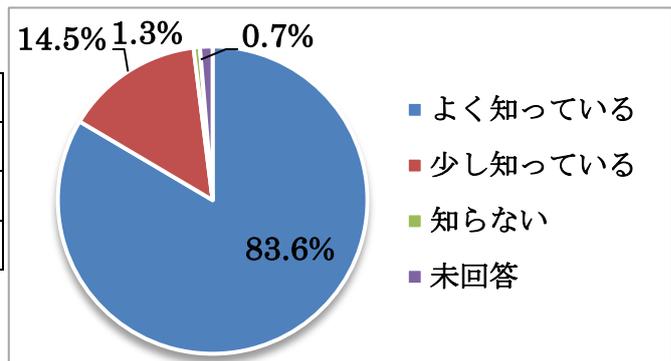
問1 家族にタバコを吸う人はいますか

いる	87
いない	63
未回答	2
合計	152



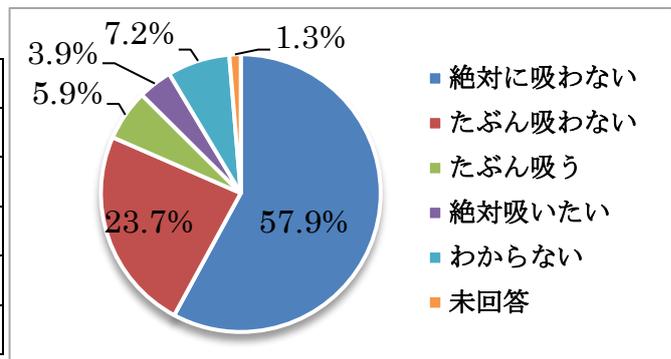
問2 タバコには多くの害があることを知っていますか

よく知っている	127
少し知っている	22
知らない	1
未回答	2
合計	152



問3 大人になったらタバコを吸いたいですか

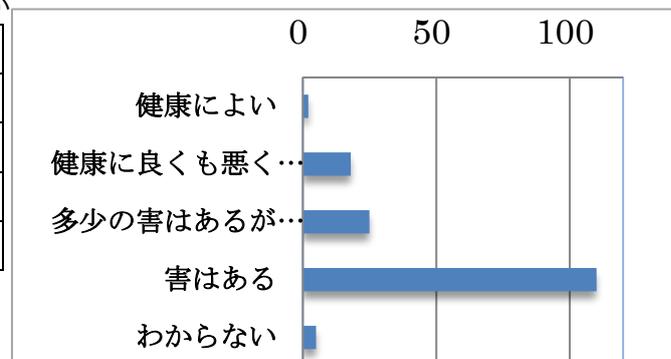
絶対に吸わない	88
たぶん吸わない	36
たぶん吸う	9
絶対吸いたい	6
わからない	11
未回答	2
合計	152



問4 お酒を飲むと体に影響があると思いますか

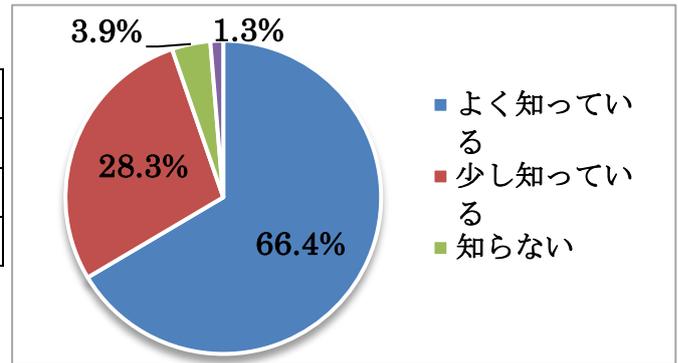
健康によい	2
健康に良くも悪くもない	18
多少の害はあるが大したことない	25
害はある	110
わからない	5

*複数回答可



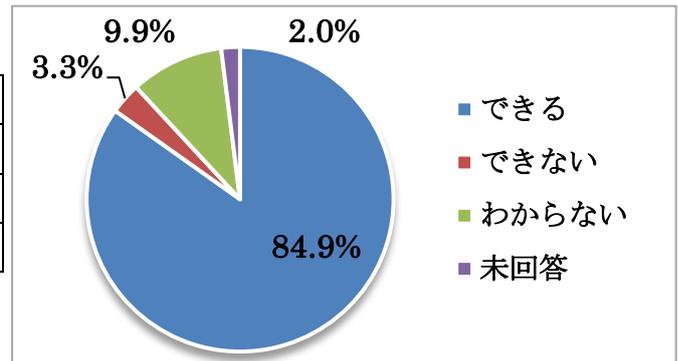
問5 シンナー・麻薬・覚せい剤などの危険性を
知っていますか

よく知っている	101
少し知っている	43
知らない	6
未回答	2
合計	152



問6 シンナー・麻薬・覚せい剤などに誘われたら
断ることができますか

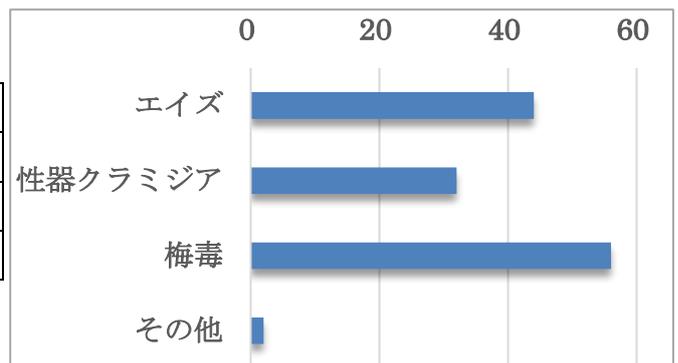
できる	129
できない	5
わからない	15
未回答	3
合計	152



問7 以下の性感染症で知っているものはどれ
ですか

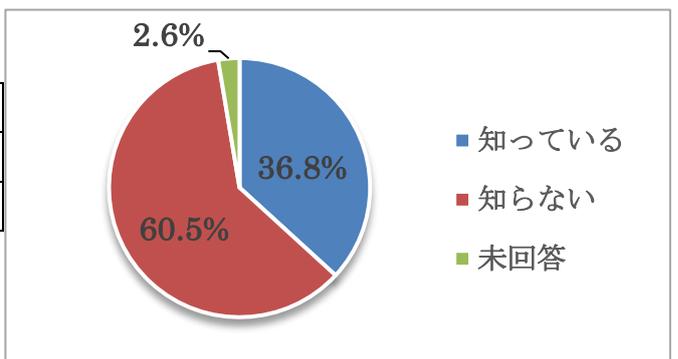
エイズ	44
性器クラミジア	32
梅毒	56
その他	2

*複数回答可



問8 エイズや性感染症の予防にコンドームが
有効であることを知っていますか

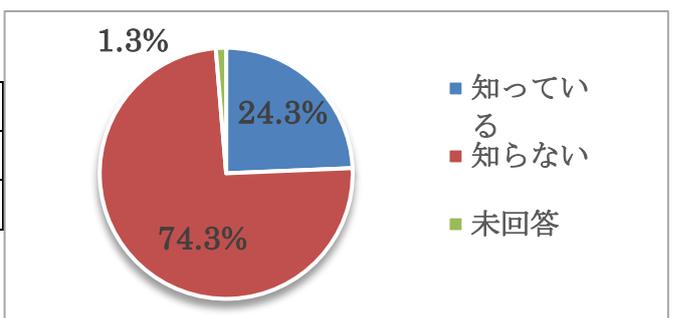
知っている	56
知らない	92
未回答	4
合計	152



【食育・食生活】

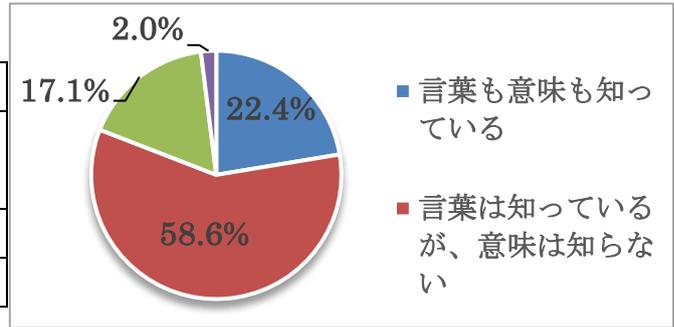
問1 一日の目標食塩摂取量を知っていますか
(男性9g以下、女性7.5g以下)

知っている	37
知らない	113
未回答	2
合計	152



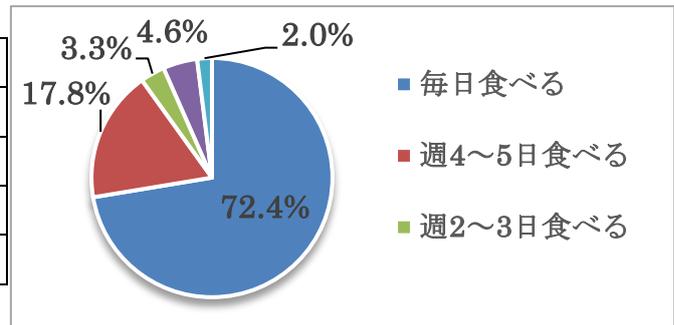
問2 「食育」という言葉やその意味を知っていますか

言葉も意味も知っている	34
言葉は知っているが、意味は知らない	89
全く知らない	26
未回答	3
合計	152



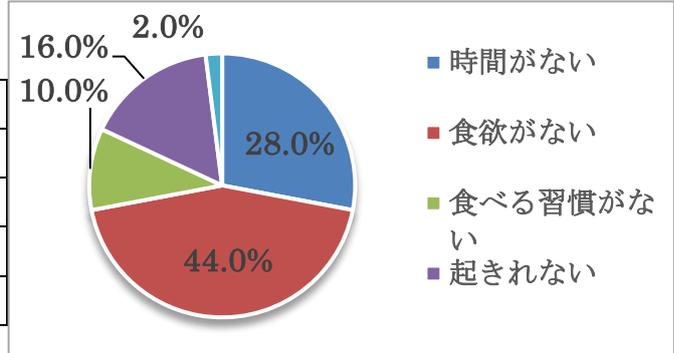
問3 朝食を食べていますか

毎日食べる	110
週4~5日食べる	27
週2~3日食べる	5
ほとんど食べない	7
未回答	3
合計	152



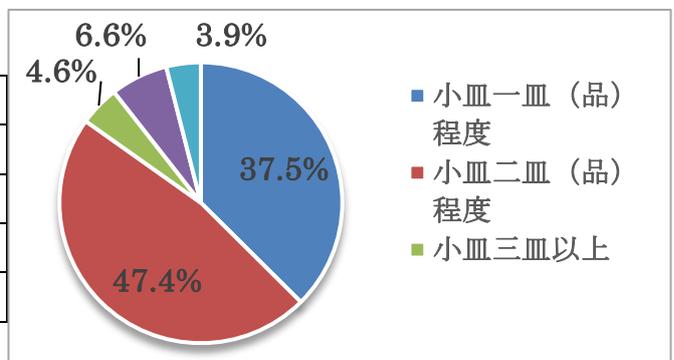
問4 朝食を食べない理由は何ですか (問3で「2」「3」「4」と答えた方)

時間がない	14
食欲がない	22
食べる習慣がない	5
起きれない	8
その他	1



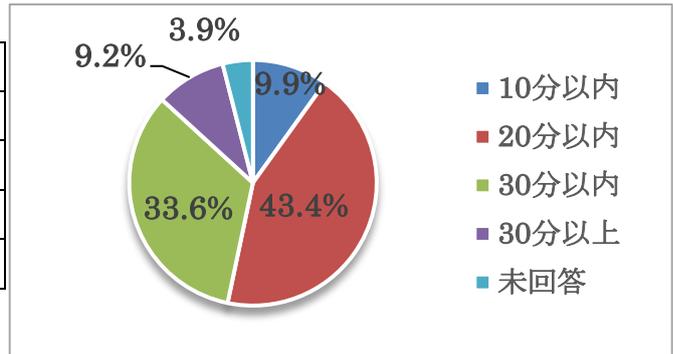
問5 1回の食事で「野菜・野菜料理」をどのくらい食べていますか

小皿一皿(品)程度	57
小皿二皿(品)程度	72
小皿三皿以上	7
食べない	10
未回答	6
合計	152



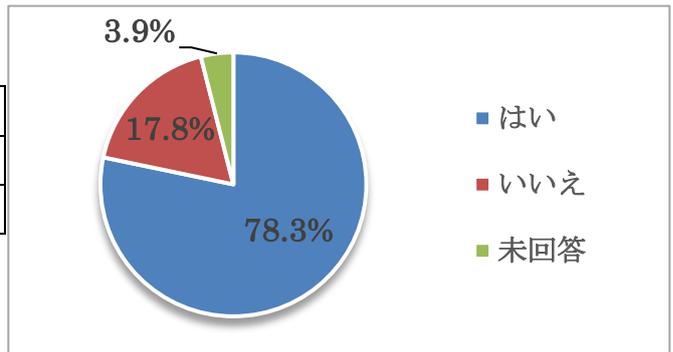
問6 1回の食事時間はどのくらいですか

10分以内	15
20分以内	66
30分以内	51
30分以上	14
未回答	6
合計	152



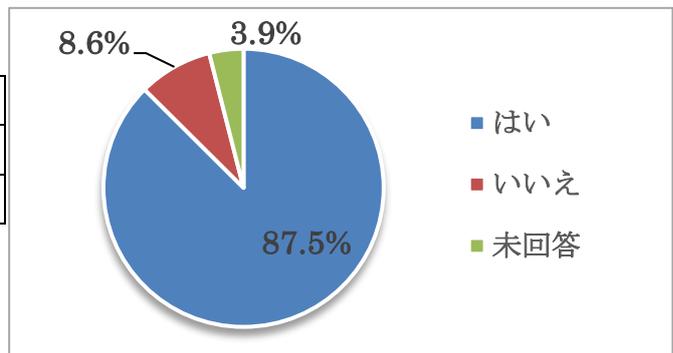
問7 伝承料理や郷土料理を家庭で食べていますか

はい	119
いいえ	27
未回答	6
合計	152



問8 「地産地消」という言葉を知っていますか

はい	133
いいえ	13
未回答	6
合計	152



問9 栄養をバランスよく摂るように気をつけていますか

はい	117
いいえ	29
未回答	6
合計	152

